

MITSUBISHI

三菱マルチメディアワイド液晶ディスプレイ

WISEO

MDT243WG

(AP627)

取扱説明書



- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ず守ること」は、液晶ディスプレイをご使用前に必ず読んで正しくお使いください。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「セットアップガイド」は「保証書」・「ユーティリティーディスク」と共に大切に保管してください。
- 必ず転倒・落下防止処置を実施してください。(→P6、51参照)
- この取扱説明書文書内のURLは、クリックするとWebサイトへリンクします。



この製品をご家庭から排出される場合は、当社所定の手続きにより、新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

インターネットホームページ：www.MitsubishiElectric.co.jp/display

INTERNET INFORMATION & DOWNLOADS SERVICE

製品登録のご案内

三菱電機では、ウェブサイトでのアンケートにお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる「製品登録サービス」を実施しております。詳しくはこちらをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage

もくじ	ページ
ご使用前に.....	2
何ができるの？.....	2
付属品の確認.....	3
本書の見かた.....	4
安全のために必ず守ること.....	5
各部の名称.....	8
本体正面.....	8
本体背面.....	9
リモコン.....	10
リモコンの取り扱い.....	11
接続.....	12
ご使用前に.....	12
接続方法について.....	13
接続する.....	14
Windows®セットアップ情報とテストパターンについて.....	20
設定.....	21
自動調節をする (PC接続のアナログ接続の場合のみ).....	21
ゲームやDVDを見る.....	23
画面調節 (OSD機能).....	24
OSD画面の基本操作.....	26
OSD機能の各選択項目について (PC入力選択時).....	28
OSD機能の各選択項目について (HDMI、ビデオ入力選択時).....	37
OSD機能による画面調節が必要となる場合.....	40
その他の機能について.....	41
困ったとき.....	42
故障かな？と思ったら.....	42
本機を廃棄するには.....	46
保証とアフターサービス.....	47
個人情報の取り扱い.....	47
付録.....	48
フロントキー操作.....	48
市販のアームを取り付けるとき.....	50
用語解説.....	52
仕様.....	54
さくいん.....	55

ご使用のために

各部の名称

接続

定続

画面調節

困ったとき

付録

ご使用前に

何ができるの？

映画の暗いシーンを見やすく デジタルカメラの画像をくっきり

■ DV MODE (Dynamic Visual MODE) (→P8、P10、28、37)

映画、ゲーム、写真、文書など、表示する内容に合わせた最適な画質を8つ（PC入力またはHDMI入力選択時）または6つ（ビデオ入力選択時）のモードからお選びいただけます。また、MP MODEの設定による明るさの変化を、DV MODEごとにブライトネスを設定することで明るさの変化を少なくできます。

動画もくっきり鮮明に表示

■ MP MODE (Motion Picture MODE) (→P8、P10、28、37)

新搭載の動画応答改善回路で黒挿入、バックライトスキャンニング、オーバードライブを最適に組み合わせることにより、ゲームや映画など動画を楽しむ場合に、動きの速い映像でも、ぼやけ感をおさえてブレの少ないくっきりとした動画を再現します。コンテンツの動きに応じて、4つのレベルからお選びいただけます。

目への負担をやわらげたい

■ IV MODE (Intelligent Visual MODE) (→P29、37)

人間工学的な知見をもとに、年齢によるまぶしさの感じ方や表示画像の平均輝度に応じた明るさ制御を自動的におこない、目の疲労をやわらげます。一般的に、若年層では明るさに対する感度が高くなるため、より明るさを抑えた設定になります。

音を解析し、音声信号を補正

■ DIATONE[®] リニアフェイズ

新搭載のDIATONE[®] リニアフェイズ回路で、スピーカーから出てくる音の周波数ごとの強さや伝達時間などを解析。得られたデータから加工した補正特性を加えることによって音の歪みを補正し、クリアで豊かな音を再現します。

2台のコンピューターをひとつのディスプレイで切り替え表示

■ 2系統入力 (→P14)

2台のコンピューターを本機につなぎ、コンピューターの画面を切り替えて表示させることができます。また、HDMI入力端子を使用してコンピューターと接続することにより、最大4系統の入力が可能です。

明るさや色の調節をしたい

■ OSD機能 (On Screen Display) (→P24)

画面の明るさ、表示位置やサイズ、カラーなどをOSD画面により調節することができます。OSD機能そのものに関する操作（OSDオートオフ、OSDロックなど）もできます。

スタンド角度と高さを調節したい

■ スタンド調節機能 (→P19)

約60mm（チルド角度0°において）の範囲で高さ調節ができる専用スタンドが装備されています。角度も上下左右方向に調節することができます。

電源ランプの明るさを調節したい

■ LEDブライトネス調節機能 (→P35、40)

映画の暗いシーンを見るときやマルチディスプレイ環境のときなど、画像表示の妨げにならないように電源ランプの輝度を下げることができます。

コンピューターの画面で作業しながらビデオ画面を視聴したい

■ PIP機能 (→P33、40)

親画面の中に子画面を表示するPIP機能により、コンピューター画面の中にビデオ画面を表示したり、ビデオ画面の中にコンピューター画面を表示することができます。（組み合わせによっては、PIP機能が使用できない場合があります。）

お知らせ

液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られており、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合がありますが、これは故障ではありません。本製品の有効ドット数の割合は99.9995%以上です。

※ 有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、弊社で保証する表示可能なドット抜けの割合」を示しています。「画素」および「ドット」という言葉はISO13406-2に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル(pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル(subpixels)」となります。つまり、「画素」は実態のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

本機は、PC、HDMI、ビデオの信号を受けて画像を表示することができます。
接続に際しての詳細は「接続方法について」(→P13)に記載してあります。

PC入力系

接続方法	コンピューターの機種	コンピューターの出力端子	画面の自動調節
デジタル接続	 Windows®シリーズ※1  Macintoshシリーズ※2	DVI-D端子またはDVI-I端子	不要(つなぐだけでご使用になれます)
アナログ接続	 Windows®シリーズ※1  Macintoshシリーズ※2	ミニD-SUB15ピン端子、 DVI-I端子※3またはD-SUB15ピン端子	要(→P21)
2系統入力	 Windows®シリーズ※1  Macintoshシリーズ※2	デジタル出力端子とアナログ出力端子を併用します。	要(アナログ接続のみ) (→P21)

※1 Windows®をご使用の方は、セットアップ情報をインストールすることをお奨めいたします。(→P20)

※2 Apple Macintoshシリーズコンピューターは、モデルにより出力端子が異なります。変換アダプター(市販)が必要となる場合があります。詳しくは「接続方法について」(→P13)をご覧ください。

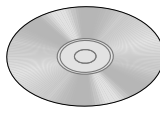
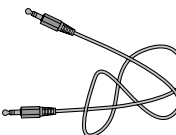


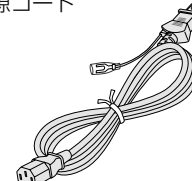
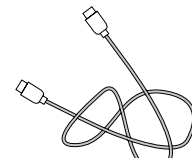

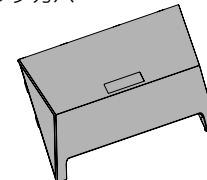


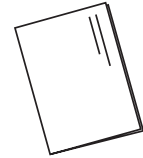
※3 DVI-I端子によるアナログ接続には、変換アダプター(市販)等が必要となります。詳しくは「接続方法について」(→P13)をご覧ください。

HDMI、ビデオ入力系

映像機器の出力信号	機種	映像入力端子	音声入力端子
コンポーネント映像出力 (D端子出力)	BSデジタルチューナー、 DVDプレーヤーなど	D5映像入力端子 (VIDEO1)	ビデオ音声入力端子 (VIDEO1)
S映像出力	ビデオ、ゲーム機など	S映像入力端子 (VIDEO2)	ビデオ音声入力端子 (VIDEO2)
コンボジット映像出力	ビデオ、ゲーム機など	映像入力端子 (VIDEO2)	ビデオ音声入力端子 (VIDEO2)
HDMI映像出力	ゲーム機、DVDプレーヤーなど	HDMI映像入力端子 (HDMI1、HDMI2)	HDMI音声入力端子 (HDMI1、HDMI2) ※HDMI映像入力端子と共通

付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

ユーティリティディスク (取扱説明書、テストパターン) (→P20) 	オーディオケーブル 	信号ケーブル  ミニD-SUB15ピン -ミニD-SUB15ピン ケーブル(アナログ接続用)	リモコン/単4形乾電池2本 
電源コード 	HDMIケーブル 	DVI-D-DVI-Dケーブル (デジタル接続用) 	保証書 (梱包箱に貼り付けてあります。)
バックカバー 	クリーニングクロス 	セットアップガイド 	お客様問合せ確認シート 

ご使用の
前に
安全のため
に
:

本書の見かた

本書の表記のしかた

お願い：取扱い上、特に守っていただきたい内容

お知らせ：取扱い上、参考にしていただきたい内容

(→PXX)：参考にしていただきたいページ

：Windows®とMacintosh両方に関わる内容

：Windows®のみに関わる内容

：Macintoshのみに関わる内容

知りたいことを探すために

やりたいことから探す→「何ができるの？」(→P2)

説明の内容から探す→「本書の構成と分類」(→P4)

言葉と意味で探す→「用語解説」(→P52)

もくじで探す→「もくじ」(→表紙)

さくいんで探す→「さくいん」(→P55)

ご使用の
安全のために…

本書の構成と分類

本書では、本機を安全かつ快適にお使いいただくために、以下のように説明を分類しています。

ご使用前に (→P2)

ご使用のコンピューターと本機の接続方法によって、お客様が必要となる説明がどこに記載されているのかを把握していただくための説明です。

安全のために必ず守ること (→P5)

万が一の事故を回避するための使用方法に関する注意事項です。

各部の名称 (→P8)

後に続く「接続」や「画面設定」などの説明に際して、本機の各部の名称とその位置を把握いただくための説明です。

接続 (→P12) / 設定 (→P21)

ご使用のコンピューターと本機を接続して使用するまでに必要な手順を説明しています。

画面調節 (OSD機能) (→P24)

画面の調節やOSD機能の設定をする際の手順や各機能について説明しています。

その他の機能 (→P41)

本機に装備された機能で、OSD機能以外の機能についての説明をしています。

困ったとき (→P42)

故障の疑いがあるなど、困ったときの対処方法などを説明しています。

付録 (→P48)

用語の解説、さくいんなどを掲載しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態でVCCI基準に適合しています。



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本製品は高調波電流規格 JIS C61000-3-2に適合しています。

本製品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合しています。



本製品はPC3R「PCグリーンラベル制度」の審査基準（2008年度版）を満たしています。詳細は、Webサイト www.pc3r.jp をご覧ください。



本製品は「J-Mossグリーンマーク・ガイドライン」に基づくJ-Mossグリーンマークを表示しています。「J-Moss(JIS C 0950)」に基づく特定の化学物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE)の含有状況についての情報を公開しています。

詳細は、ウェブサイト www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment をご覧ください。
形名：MDT243WG

■本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。

■本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。

■本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。

●VISEO、Diamondcrysta、Diamondcrysta WIDE、DIATONEは、三菱電機株式会社の登録商標です。

●Windowsは米国Microsoft社の米国等における登録商標です。

●MacintoshはApple社の米国等における登録商標です。

●HDMI およびHigh-Definition Multimedia Interfacelは、HDMI Licensing LLC.の商標または登録商標です。











●その他、この取扱説明書に記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	---	---	-------------------------------------

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対に行わない		必ず指示に従いおこなう
	絶対に分解・修理・改造はしない		必ず電源プラグをコンセントから抜く
	絶対に水にぬらさない		必ずアースリード線を接地（アース）する
	絶対に触れない		挟みこみに注意する
	絶対に濡れた手で触れない		高圧注意（本体後面に表示）

●ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

警告

<p>万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!</p> <p>異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。 すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。</p> <div style="text-align: right;"> プラグを抜く</div>		
<p>故障（画面が映らないなど）や煙、変な音・においがするときは使わない</p>  <div style="text-align: right;"> 使用禁止</div> <p>火災・感電の原因になります。</p>	<p>裏ぶたをはずさない</p>  <div style="text-align: right;"> 分解禁止</div> <div style="text-align: right;"> 高圧注意</div> <p>内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。</p>	<p>傾斜面や不安定な場所に置かない</p>  <p>落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。</p>
<p>電源コードを傷つけない</p>  <div style="text-align: right;"> 傷つけ禁止</div> <p>熱器具のそば やぶれ 下敷き コードをひっぱる</p> <p>重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないこと。コードが破損して火災・感電の原因になります。</p>	<p>キャビネットを破損したときは使わない</p>  <div style="text-align: right;"> 使用禁止</div> <p>火災・感電の原因になります。</p>	<p>異物をいれない 特にお子さまにご注意</p>  <div style="text-align: right;"> 禁止</div> <p>火災・感電の原因になります。</p>
<p>アース線を接続する</p>  <p>アース線を接続しないと故障のときに感電の原因になります。 アース線を接続せよ</p> <p>アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。</p>	<p>風呂場や水のかかるところに置かない</p>  <div style="text-align: right;"> 水ぬれ禁止</div> <p>水などが液晶ディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。</p>	<p>アースリード線を挿入・接触しない</p>  <div style="text-align: right;"> 禁止</div> <p>電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因になります。</p>

ご使用のために
安全のために
：

⚠ 警告

ご使用のために
安全のために…

<p>正しい電源電圧で使用する</p> <p>指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因になります。</p> <p>一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外(最大AC240V)でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。</p> <p>本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。</p>	<p>修理・改造をしない</p> <p>けが・火災・感電の原因になります。</p> <p>ポリ袋で遊ばない</p> <p>特にお子さまにご注意</p> <p>本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になります。</p> <p>雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない</p> <p>感電の原因になります。</p>	<p>液晶を口にしない</p> <p>液晶パネルが破損し、液晶が漏れ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりすると、中毒を起こす原因になります。</p> <p>万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。</p> <p>手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。</p>
--	--	---

⚠ 注意

設置のときは次のことをご守りください。
風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

<p>狭い所に置かない</p> <p>設置禁止</p>	<p>あお向けや横倒し、さかさまにしない</p> <p>禁止</p>	<p>直射日光や熱器具のそばに置かない</p> <p>設置禁止</p>
<p>布などで通風孔をふさがない</p> <p>禁止</p>	<p>屋外での使用禁止</p> <p>屋外での使用禁止</p> <p>本機は屋内での使用を想定しています。屋外で使用すると故障の原因となることがあります。</p>	<p>湿気やホコリの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない</p> <p>設置禁止</p>
<p>車載用禁止</p> <p>車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>液晶パネルに衝撃を加えない</p> <p>破損してけがや故障の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>接続線をつけたまま移動しない</p> <p>火災・感電の原因になります。電源プラグや機器間の接続線はずしたことを確認の上、移動してください。</p> <p>禁止</p>
<p>電源プラグを持って抜く</p> <p>コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります。</p> <p>プラグを持つ</p>	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <p>感電の原因になります。</p> <p>ぬれ手禁止</p>	<p>転倒・落下防止対策をおこなう</p> <p>転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものです。全ての地震に対しての効果を保証するものではありません。</p> <p>設置台を補強する 丈夫なロープで製品を壁とつなぐ</p>

注意

<p>電池は分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しない 有機溶媒など可燃物質を内蔵しており、発火、発熱、破裂の原因になります。</p>	<p>お手入れの際は電源プラグを抜く 感電の原因になります。 During servicing, disconnect the plug from the socket-outlet.</p>
<p>電池を入れるときは、プラスとマイナスの向きを正しく入れる 逆に入れると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周辺を汚す原因になります。</p>	<p>スタンドに手を挟まない 角度調節時、取り付け、取り外し時に手を挟むとけがの原因になります。</p>
<p>電源プラグを奥までさしこむ しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。</p>	<p>液晶ディスプレイを廃棄する場合 液晶ディスプレイに使用している蛍光管(バックライト)には水銀が含まれています。ご自身で廃棄しないでください。本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。(→P46: 本機を廃棄するには)環境や健康に悪影響をあたえる原因になります。</p>
<p>1年に一度は内部掃除を 内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。内部掃除は販売店にご依頼ください。</p>	<p>長期の旅行、外出のときは電源プラグを抜く 火災の原因となることがあります。</p>
<p>内部掃除</p>	<p>電源プラグのほこりなどは定期的にとる 火災の原因になります。 1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。</p>

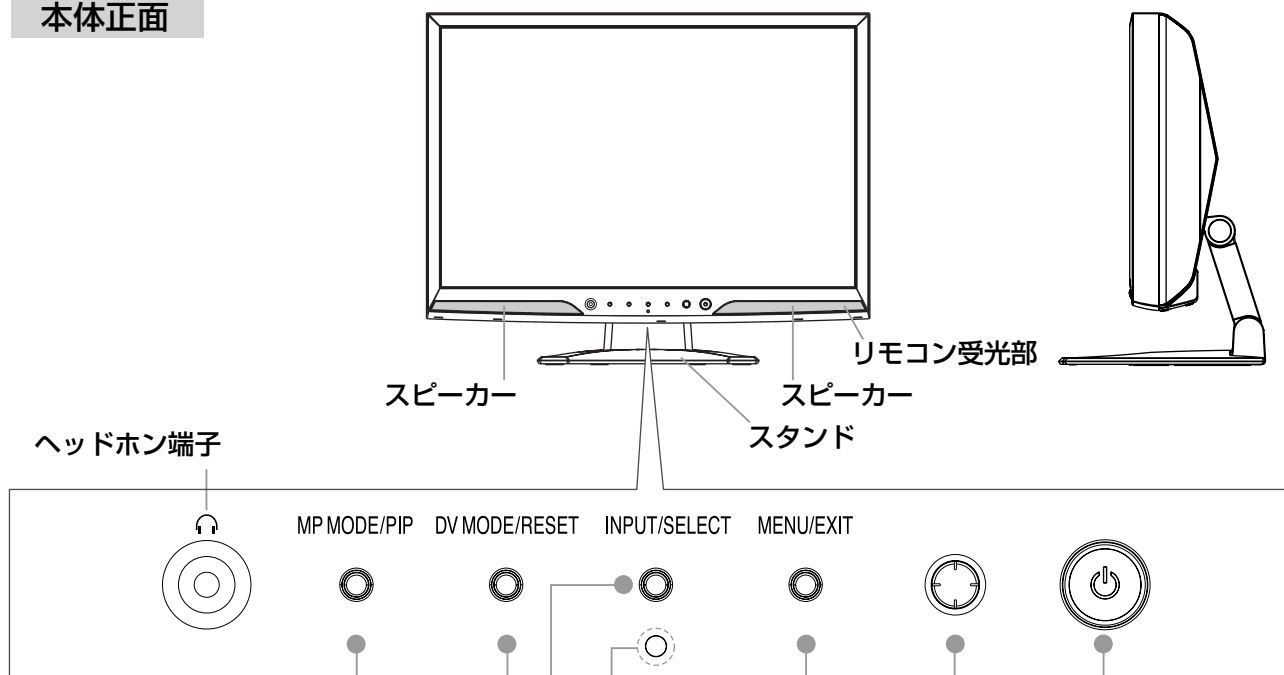
ご使用のために：
安全のためには：

液晶ディスプレイの上手な使い方

<p>長時間同じ画面を表示しない 長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残ること(残像)がありますが故障ではありません。長時間同じ画面を表示させないでください。あまり長時間同じ画面を表示すると消えなくなりますが、同じ画面を長時間表示するような方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えたり、使用していないときは省電力モードにするか、電源をオフすることをおすすめします。</p>	<p>キャビネットのお手入れ(光沢表面) キャビネット光沢表面は少しの傷でも目立ちやすくなっています。お手入れは同梱のクリーニングクロス以外のご使用にならないでください。(キャビネット光沢表面の変色を防ぐため、中性洗剤のご使用もご遠慮ください。)ホコリなどの汚れは、先に同梱のクロスの特長起毛加工面(文字のある面)で軽くふき取った後、指紋や頑固な油膜を同クロスの平織面(文字のない面)で軽くふき取ってください。同梱のクロスでも、強くふいたりこすったりすると傷が付くことがありますので、取り扱いには十分ご注意ください。同梱のクロスに付いているホコリなどでの傷付きを防ぐため、ご使用後は必ず洗ってください。(柔軟剤や漂白剤などのご使用はご遠慮ください。)</p>
<p>日本国内専用です この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。 This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.</p>	<p>キャビネットのお手入れ(光沢表面以外) お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。</p>
<p>液晶パネルのお手入れ パネル表面は傷つきやすいので、固いもので押しついたりこすったりしないように、取り扱いには十分ご注意ください。パネル表面は触指などにより汚れることのないようご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふきとってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。溶剤を使用される場合は以下のものを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。 (水、エタノール、イソプロピルアルコール) 推奨以外の溶剤(酸、アルカリ、アセトン等)は使用しないでください。溶剤類や水滴等が、液晶ディスプレイ内部に入ったり表示面以外の液晶ディスプレイ表面に付着すると製品を破壊する恐れがありますのでご注意ください。</p>	<p>上手な見方 画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40~70cmはなれたぐらいが見やすく目の疲れが少なくなります。明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。</p> <p>キャビネットを傷めないために キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹼などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。(化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。)またゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットが変色したり、変質するなどの原因となります。</p>

各部の名称

本体正面



各部の名称

MP MODE/PIPボタン

PIP画面が表示されていない場合 (ホットキー機能)

短押しで、MP MODEを切り替えます。

(4モード) (→P28, 37)

オフ、レベル1、レベル2、レベル3

長押しで、PIP機能をオンにします。

PIP画面が表示されている場合

短押しで、現在表示中の親画面と子画面を逆にします。

長押しで、PIP機能をオフにします。

DV MODE/RESET ボタン

OSD画面が表示されていない場合 (ホットキー機能)

DV MODEを切り替えます。(→P28, 37)

- PC、HDMI入力選択時 (8モード)
スタンダード1、スタンダード2、IVテキスト、sRGB、TV、ゲーム1、ゲーム2、シネマ
- ビデオ入力選択時 (6モード)
スタンダード1、スタンダード2、ゲーム1、ゲーム2、シネマ、TV

現在の状態が画面右上に表示されます。

OSD画面が表示されている場合

現在表示中の調節項目のリセット画面を表示します。

INPUT/SELECTボタン

OSD画面が表示されていない場合 (ホットキー機能)

短押しで、入力信号を切り替えます。

D-SUB、DVI-D、HDMI1、HDMI2、VIDEO1、VIDEO2

長押しで、音声入力の選択画面が表示されます。

OSD画面が表示されている場合

選んだ調節項目を決定します。

MENU/EXITボタン

OSD画面を表示または消します。

OSD機能の操作の最中には1つ上の画面に戻ります。

明るさセンサー

周囲の明るさを検知するセンサーです。

明るさセンサー機能使用時に作動します。(→P29, 37)

明るさセンサー機能使用時には障害物のかげにならないようご注意ください。

コントロールボタン(⊙)

OSD画面が表示されていない場合

(ホットキー機能)

上下ボタンで音量を調節できます。

左右ボタンでブライトネスを調節できます。

中央ボタンで消音機能をオン/オフします。

OSD画面が表示されている場合

上下左右中央ボタンでOSD画面の操作をします。

PIP画面が表示されている場合

(ホットキー機能)

左右ボタンでPIP画面の入力信号を切り替えます。入力信号の組合せによっては、切り替えができない場合があります。

(→P33)

電源スイッチ

主電源スイッチがオンのときのみ有効になります。

電源オフ時

押すと、電源がオンし、青色LEDが点灯します。

電源オン時

押すと、電源がオフし、青色LEDが消灯します。

お願い

電源を短時間のうちに頻繁にオン/オフしないでください。故障の原因となることがあります。

電源ランプ

電源を入れたときは、青色に点灯します。

パワーマネージメント機能の作動中は、青色に点滅します。(→P41)

電源を入れても電源ランプが点灯しない場合は、LEDブライトネス調節機能で輝度を下げているか確認してください。(→P35)

お知らせ

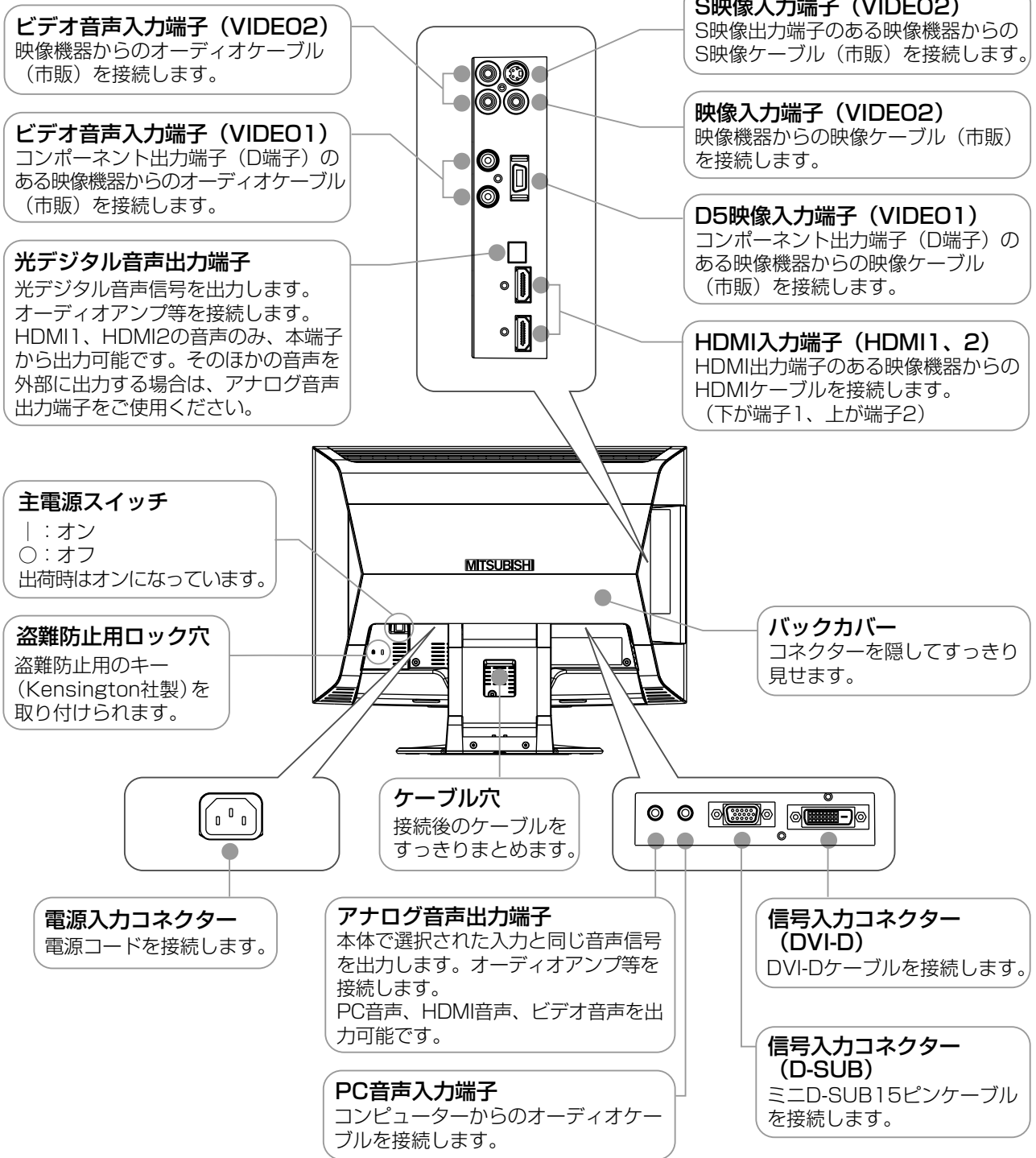
- 各ボタンによる詳しいOSD画面の操作については「OSD画面の基本操作」(→P26)、「フロントキー操作」(→P48)をご覧ください。
- ボタンの**長押し**の目安は、約3秒間です。

⚠ 注意

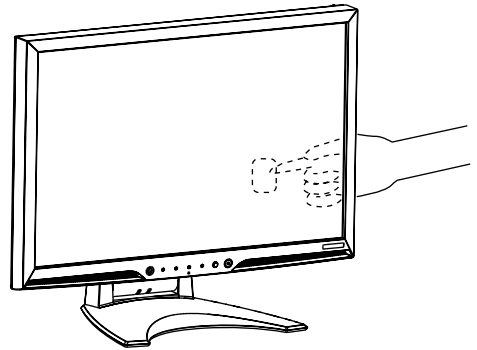
- コントロールボタンを強く押しすぎると破損の原因となります。

本体背面

各部の名称



主電源スイッチについて



主電源スイッチは本体正面から向かって右側の背面にあります。出荷時はオンになっています。長時間使用しないときはオフにしてください。

リモコン

画面サイズボタン

画面サイズを切り替えます。
(4モード) (→P30, 37)
フル、アスペクト、リアル、
2xズーム

スルーモードボタン

スルーモード機能をオン/オフします。
(→P29, 37)

MENU/EXITボタン

OSD画面を表示または消します。
OSD機能の操作の最中には1つ上の
画面に戻ります。

DV MODEボタン

DV MODE を切り替えます。
(→P28, 37)
• PC、HDMI入力選択時 (8モード)
スタンダード1、スタンダード2、
IVテキスト、sRGB、TV、
ゲーム1、ゲーム2、シネマ
• ビデオ入力選択時 (6モード)
スタンダード1、スタンダード2、
ゲーム1、ゲーム2、シネマ、TV
現在の状態が画面右上に表示されます。

ブライトネスボタン

画面の明るさを調節します。
∧：明るくなる。
∨：暗くなる。

子画面 ON/OFFボタン

子画面(PIP画面)の表示をオン/オフ
します。
スルーモード機能をオンにしていると
きは、子画面を表示できません。

子画面 映像入力ボタン
(子画面表示時のみ)

子画面に表示する映像を切り替えます。

子画面 親子切替ボタン
(子画面表示時のみ)

現在表示中の親画面と子画面を入れ替
えます。

子画面 サイズボタン

子画面のサイズを切り替えます。
(3モード)
スモール、ミドル、ラージ

子画面 位置ボタン

子画面の位置を調節可能にします。
このボタンを押したあと、コントロ
ールボタン (▲▼◀▶) で子画面位置を
調節することができます。

電源ボタン

電源をオン/オフします。

映像入力ボタン

(D-SUB) (DVI-D) (HDMI1)
(HDMI2) (VIDEO1)(VIDEO2)
それぞれの映像入力をダイレクトに
切り替えます。

アスペクトボタン

入力映像に対して、画面のアスペクト
比を設定します。(→P38)
• SDタイミング入力時 (5モード)
AUTO、4:3、16:9、
16:9MODE、オフ
• HDタイミング入力時 (3モード)
サイドカット、16:9、16:9MODE

オーバースキャンボタン

オーバースキャン率を設定します。
(3モード) (→P37, 38)
100%(FULL)、98%、
95% または 93%

自動調節ボタン

(PCアナログ接続時のみ)
左右、上下方向の表示位置、水平サイ
ズや位相を自動調節します。

画面表示ボタン

入力している信号の情報、MODEL(形
名)とSERIAL NUMBER(製造番号)を
表示します。

RESETボタン

OSD画面が表示されている場合：
現在表示中の調節項目のリセット画面
を表示します。

SELECTボタン

OSD画面が表示されている場合
選んだ項目を実行します。

コントロールボタン (▲▼◀▶)

OSD画面の操作をします。

MP MODEボタン

MP MODEを切り替えます。
(4モード) (→P28, 37)
オフ、レベル1、レベル2、レベル3
DV MODEが「IVテキスト」、「sRGB」
のときは切り替えできません。

音量ボタン

音量を調節します。
+：音が大きくなる。
-：音が小さくなる。

音声 音声入力ボタン

現在表示中の映像ソースに関係なく、
音声入力のみを切り替えることができ
ます。

音声 MUTE(消音)ボタン

音を消します。
もう一度押すか、音量ボタンを押すと、
音声が出力ようになります。



リモコンの取り扱い

基本的な使い方

リモコンはディスプレイ本体のリモコン受光部へ向けて操作してください。

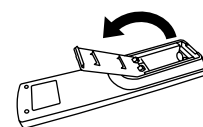
⚠ 注意

● リモコン使用上の注意

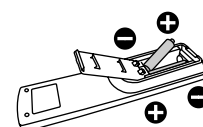
- ・ 本機のリモコンで他のテレビやビデオの操作はできません。
- ・ リモコンの動作範囲は真正面からの直線距離で約3mですが、操作する角度によっては反応が遅かったり、動作しないこともありますので、この場合、画面に近づくか、より真正面に近い角度で操作してください。
- ・ リモコンを落としたり衝撃を与えないでください。
また、水にぬらしたり、温度の高いところに置かないでください。故障の原因となります。
- ・ リモコンを直射日光の当る場所に放置しないでください。熱により変形することがあります。
- ・ リモコンを操作しても本機が動作しなくなったら乾電池の交換時期です。新しい乾電池と交換してください。
- ・ 本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。

乾電池の入れ方

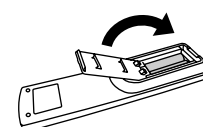
1 ふたのフックを矢印のように押しながらかき上げる



2 ケース内部の表示通りに⊕ ⊖ を合わせて入れる



3 ふたを元に戻す



⚠ 注意

- 乾電池は誤った使いかたをすると液もれや破れつすることがありますので、次の点について特にご注意ください。
- ・ 付属の乾電池は充電用ではありませんので充電しないでください。
- ・ 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- ・ 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- ・ 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれる恐れがあります。
- ・ 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となる恐れがありますのですぐ取り出してください。
また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
もし、もれた液が肌についた場合は、水で十分に洗い流してください。

お知らせ

- 付属の乾電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して保管しておいてください。

接続

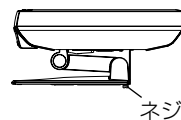
ご使用の前に

⚠ 注意

- ・ 本機を梱包箱から出した際は、まずはじめに液晶パネルを下向きにして置いてください。スタンドの固定用ネジによりテーブルなどの表面を傷付ける恐れがあります。



禁止

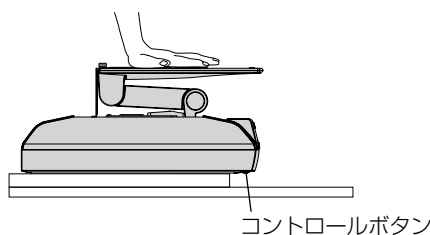
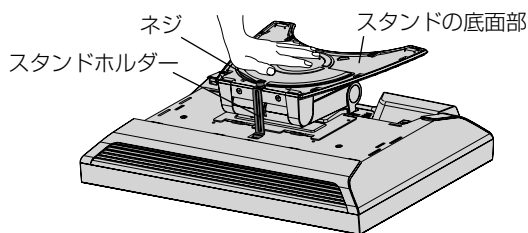


ネジ

1 平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、本機を液晶パネルを下向きにして置く

お願い

- ガラス面および前面のコントロールボタンがテーブル等の設置面や突起物に触れないように、本機を安定した状態になるよう置いてください。破損の原因となることがあります。
- 本機を立てるまでキャビネット光沢表面の傷付きを防ぐため、光沢表面の傷付き防止フィルムをはがさないでください。
- 本機を立てた後はキャビネット光沢表面の傷付き防止フィルムは、はがしてからご使用ください。
※ はがさずにご使用になりますと光沢表面が変色するなどの原因となることがあります。

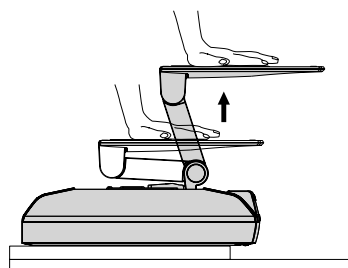
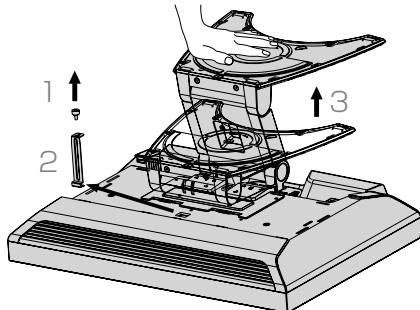


2 ネジとスタンドホルダーを外す

1 ネジを外す

2 スタンドホルダーを外す

3 スタンドが止まるまで、ゆっくりと上げる



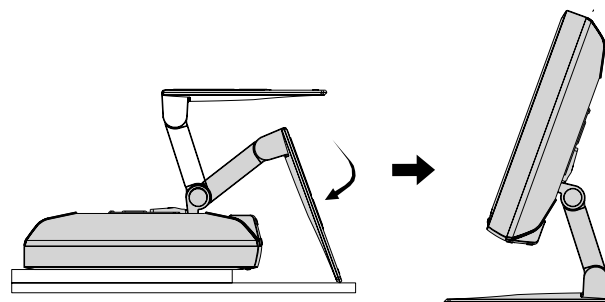
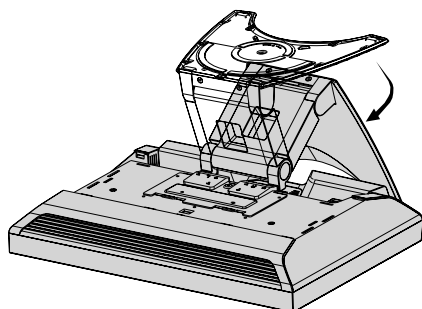
⚠ 注意

- ・ 必ずスタンドの底面部を手で押さえながら作業してください。急にスタンドが上がって、けがの原因となることがあります。
- ・ ネジとスタンドホルダーは再梱包の際に使用しますので、なくさないように保管しておいてください。

3 本機を立てる

1 スタンド先端を、本機の液晶パネル面より下になるように、スタンドをチルトさせる

2 ディスプレイ部を持って、本機を立てる

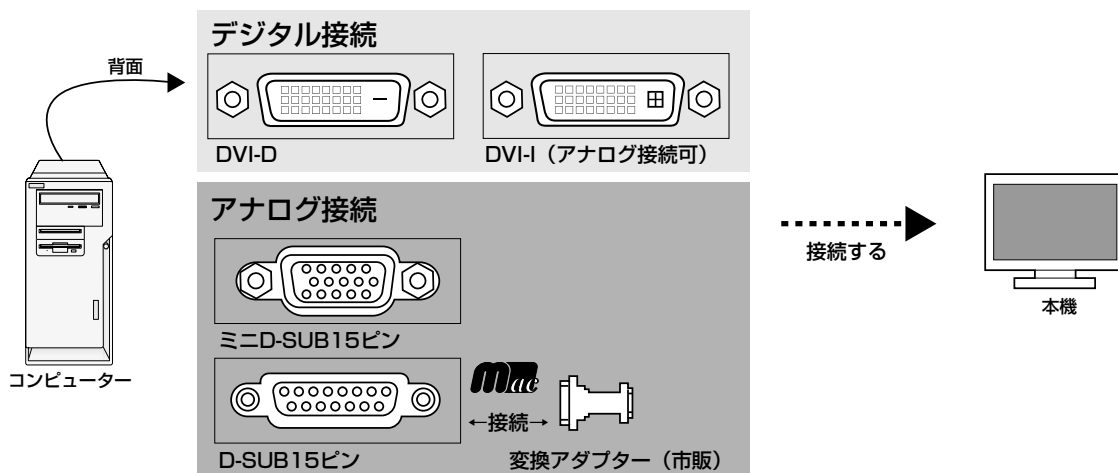


⚠ 注意


- ・ 液晶パネル面を爪などで傷付けないようにしてください。

接続方法について

本機の信号入力コネクタは、アナログ信号（ミニD-SUB15ピン）とデジタル信号（DVI-D）に対応しています。また、2台のコンピューターを同時に本機に接続し、表示する入力を切り替えて使うことができます。ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号コネクタに接続してください。それぞれの接続に対応したケーブルをご使用ください。



接続コネクタと信号ケーブル対応表

ディスプレイ側 コンピューター側	DVI-D (デジタル)	ミニD-SUB15ピン (アナログ)
DVI-I (アナログ接続/デジタル接続)	DVI-D-DVI-Dケーブルで接続 (デジタル接続)	DVI-A-ミニD-SUB15ピンケーブル (市販) で接続 (アナログ接続)
DVI-D (デジタル接続)	DVI-D-DVI-Dケーブルで接続	接続できません
ミニD-SUB15ピン (アナログ接続) (3列)	接続できません	ミニD-SUB15ピン-ミニD-SUB15ピン ケーブルで接続
D-SUB15ピン (アナログ接続) (2列) 	接続できません	ミニD-SUB15ピン-ミニD-SUB15ピン ケーブルで接続 (市販の変換アダプターが必要)

DVI-I：デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子。どちらかの入力を接続するケーブルによって使い分けが可能
DVI-D：デジタル入力のみに対応しているDVI端子
DVI-A：アナログ入力のみに対応しているDVI端子

- ※ Apple Macintoshシリーズコンピューターは、モデルによりアナログRGB出力コネクタが異なります。
- ※ デジタル接続のみで2台のコンピューターを接続することはできません。
- ※ 本液晶ディスプレイにDVI-Aでは接続できません。

接続する

お願い

- 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。

お知らせ

- 画面を上方に傾けた方がケーブル類の接続が簡単におこなえます。

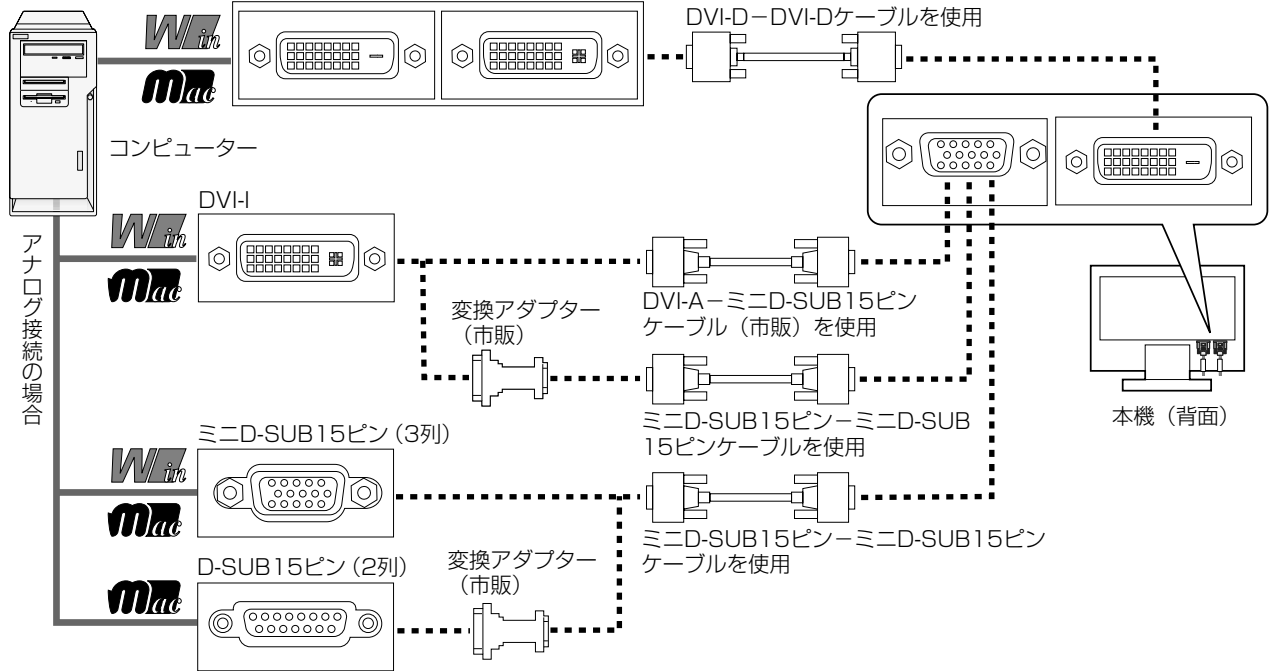
1 信号ケーブルを接続する

信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。

1台のコンピューターをつなぐ場合

デジタル接続の場合

DVI-DまたはDVI-I



アナログ接続の場合

DVI-I

ミニD-SUB15ピン (3列)

D-SUB15ピン (2列)

変換アダプター (市販)

DVI-A-MiniD-SUB15ピンケーブル (市販) を使用

ミニD-SUB15ピン-MiniD-SUB15ピンケーブルを使用

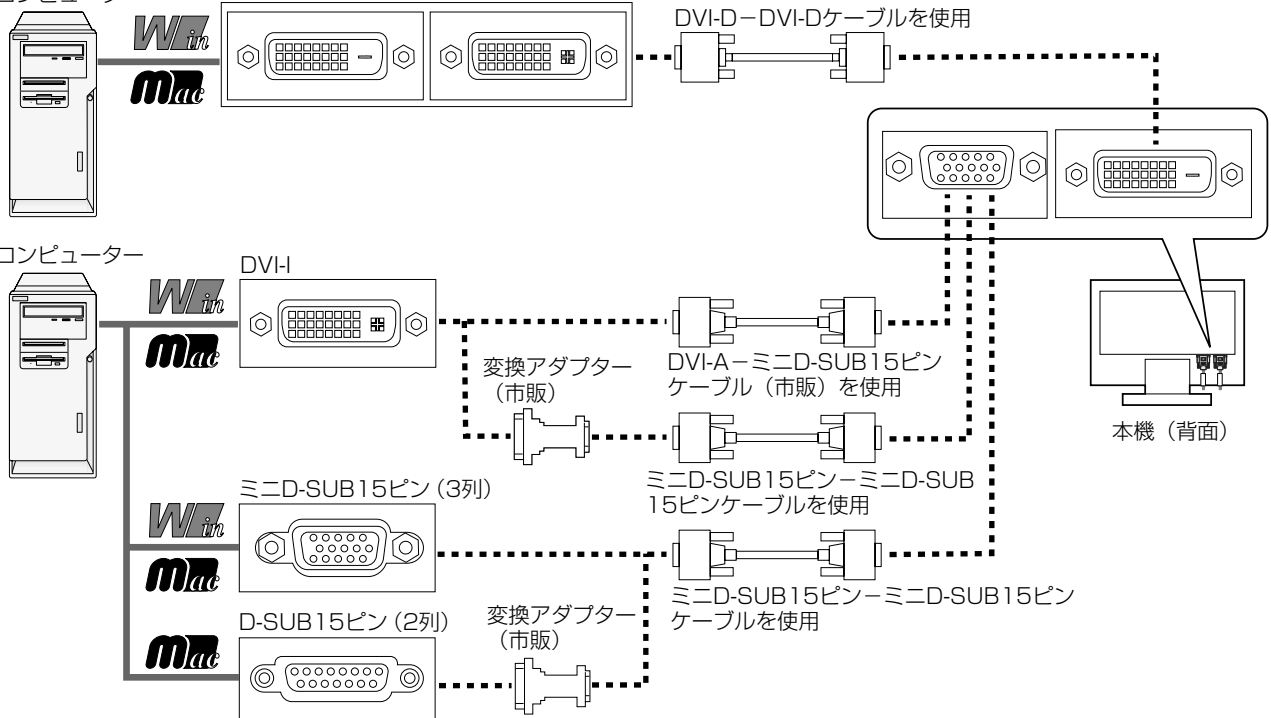
変換アダプター (市販)

ミニD-SUB15ピン-MiniD-SUB15ピンケーブルを使用

2台のコンピューターをつなぐ場合 (2系統入力)

コンピューター

DVI-DまたはDVI-I



コンピューター

DVI-I

ミニD-SUB15ピン (3列)

D-SUB15ピン (2列)

変換アダプター (市販)

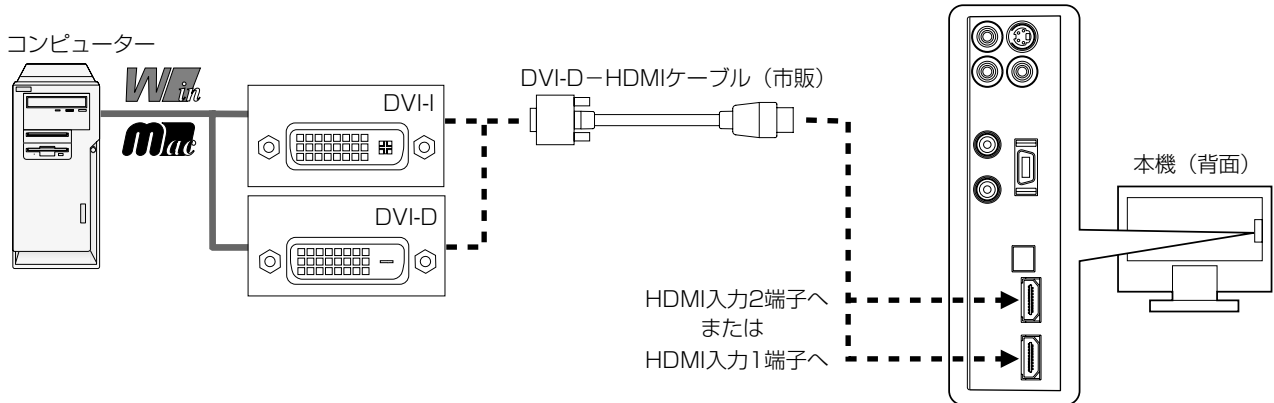
DVI-A-MiniD-SUB15ピンケーブル (市販) を使用

ミニD-SUB15ピン-MiniD-SUB15ピンケーブルを使用

変換アダプター (市販)

ミニD-SUB15ピン-MiniD-SUB15ピンケーブルを使用

コンピューターをHDMI入力端子につなぐ場合



- HDMI入力端子にコンピューターをつなぐ場合は、DVI-DコネクタおよびミニD-SUBコネクタと合わせて、最大4系統のコンピューターの入力が可能となります。

お知らせ

- コンピューターのデジタル出力をHDMI入力端子に接続した場合、1920×1200の解像度が出力されないことがあります。この場合はDVI-D入力端子をご使用ください。

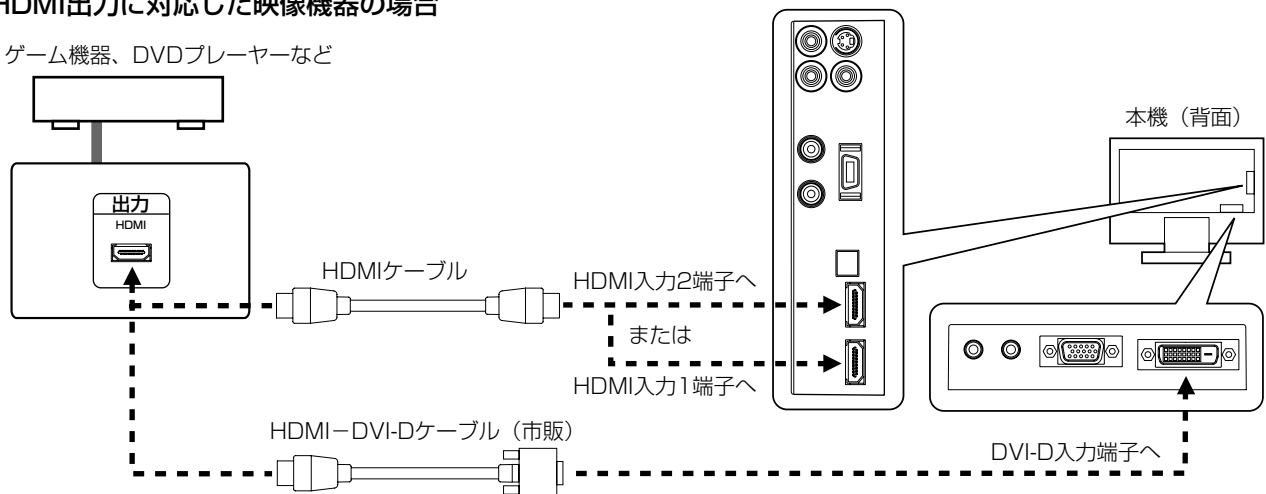
2 映像機器を接続する

お知らせ

- 機器側の接続方法については、ご使用になる機器の取扱説明書もあわせてご参照ください。

HDMI出力に対応した映像機器の場合

ゲーム機器、DVDプレーヤーなど



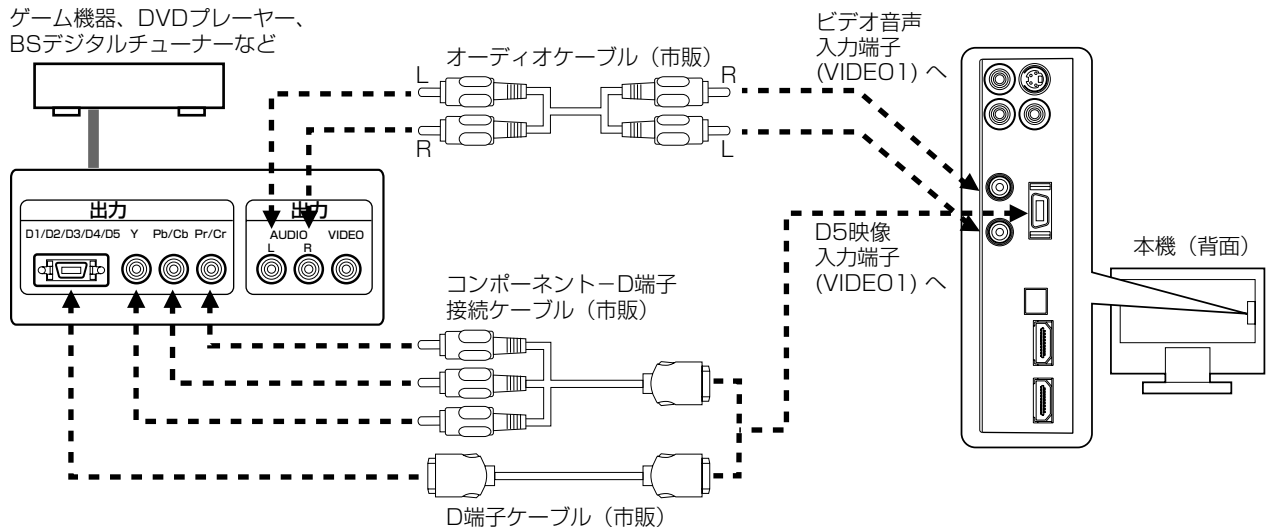
- HDMI出力に対応した映像機器をDVI-D入力端子に接続する場合は、OSD機能の「DVI EDID SELECT」を「AV」に設定してください。(→P35)

お知らせ

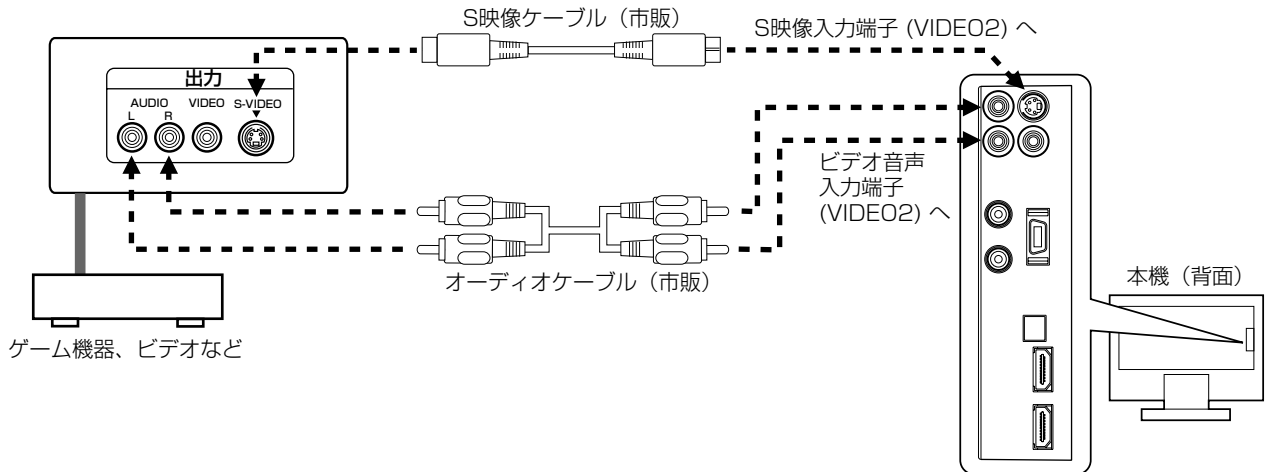
- HDMI出力に対応した映像機器をDVI-D入力端子に接続した場合は、HDMI信号に含まれる音声信号は出力されません。

設接
定続

コンポーネント映像出力（D端子出力）に対応した映像機器の場合



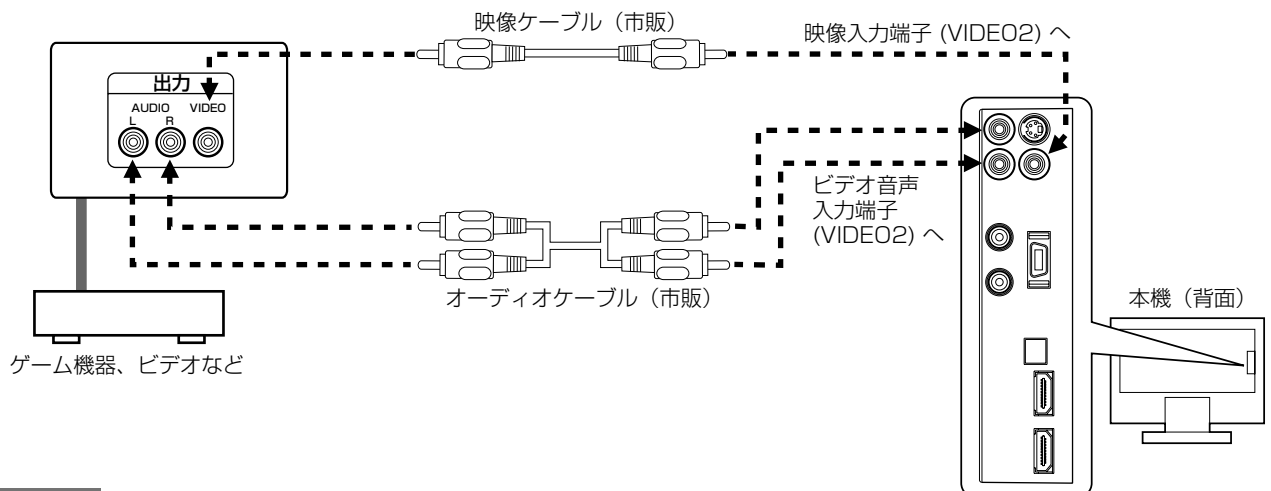
S映像出力のある映像機器の場合



お知らせ

- ゲーム機やビデオムービーなど一部の機器では、音声専用コネクタまたはステレオジャック出力の場合もあります。専用ケーブルが必要な場合は、接続機器の取扱説明書をご参照のうえ、専用ケーブルを購入してください。

S映像出力・コンポーネント映像出力のない映像機器（コンポジット映像出力）の場合



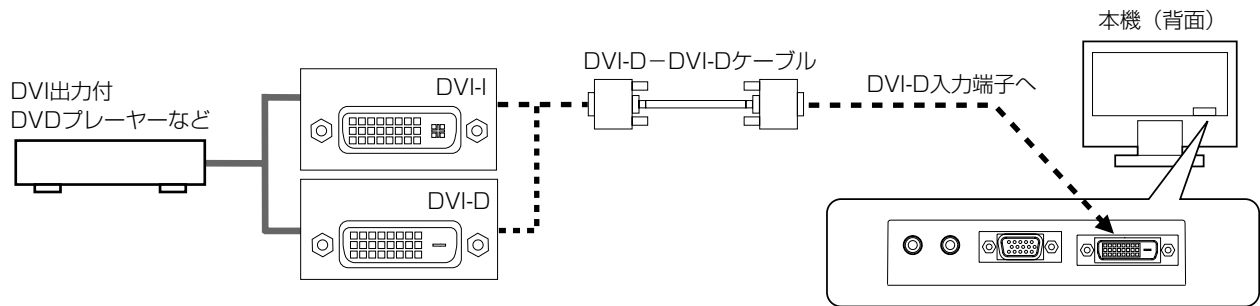
お知らせ

- ゲーム機やビデオムービーなど一部の機器では、音声専用コネクタまたはステレオジャック出力の場合もあります。専用ケーブルが必要な場合は、接続機器の取扱説明書をご参照のうえ、専用ケーブルを購入してください。

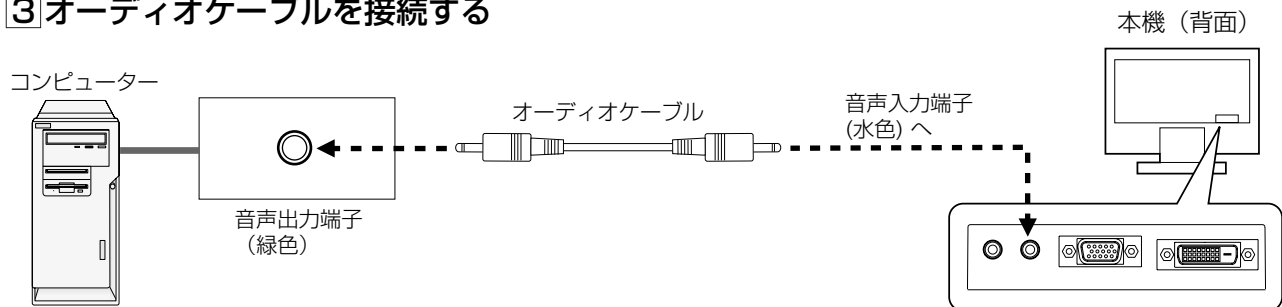
DVI出力付映像機器との接続

本機はDVI出力付DVDプレーヤーなどと接続して使用することができます。

- DVI出力付DVDプレーヤーを接続の場合は、OSD機能の「DVI EDID SELECT」を「AV」に設定してください。(→P35)



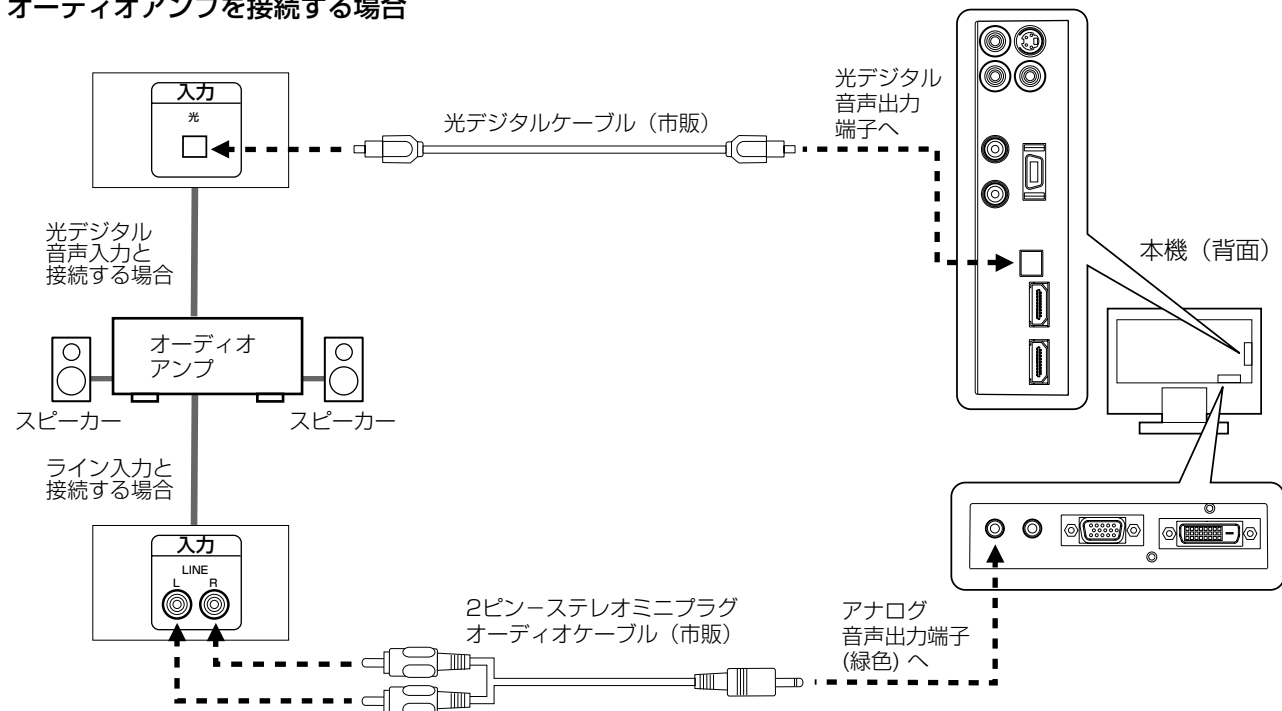
3 オーディオケーブルを接続する



お知らせ

- コンピューター側の接続方法については、コンピューターの取扱説明書もあわせてご参照ください。
- オーディオケーブルはステレオミニプラグ付きの抵抗なしのものをご使用ください。抵抗ありのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音が出ない場合があります。

オーディオアンプを接続する場合



お知らせ

- オーディオアンプ側の接続方法については、オーディオアンプの取扱説明書もあわせてご参照ください。
- オーディオケーブルはステレオミニプラグ付きの抵抗なしのものをご使用ください。抵抗ありのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音が出ない場合があります。
- 光デジタル音声出力は、5.1chには対応していません。

4 電源を接続する

お願い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。(1.5A以上必要です。)
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに接続してください。

1 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクタに差し込む

奥までしっかりと差し込んでください。

2 本機背面に接続した電源コード、信号ケーブル、オーディオケーブルを、スタンドのケーブル穴に通す

本機側面に接続したケーブル類を、本体のケーブル穴に通す

お願い

- 画面を上方に傾けた状態でケーブル類をケーブル穴に通してください。設置後に画面を上方に傾けた際に必要となるケーブルの長さが確保されます。

※ケーブルマネージメントをご使用にならない場合はこれらの作業は不要です。

3 バックカバーを取り付ける

お願い

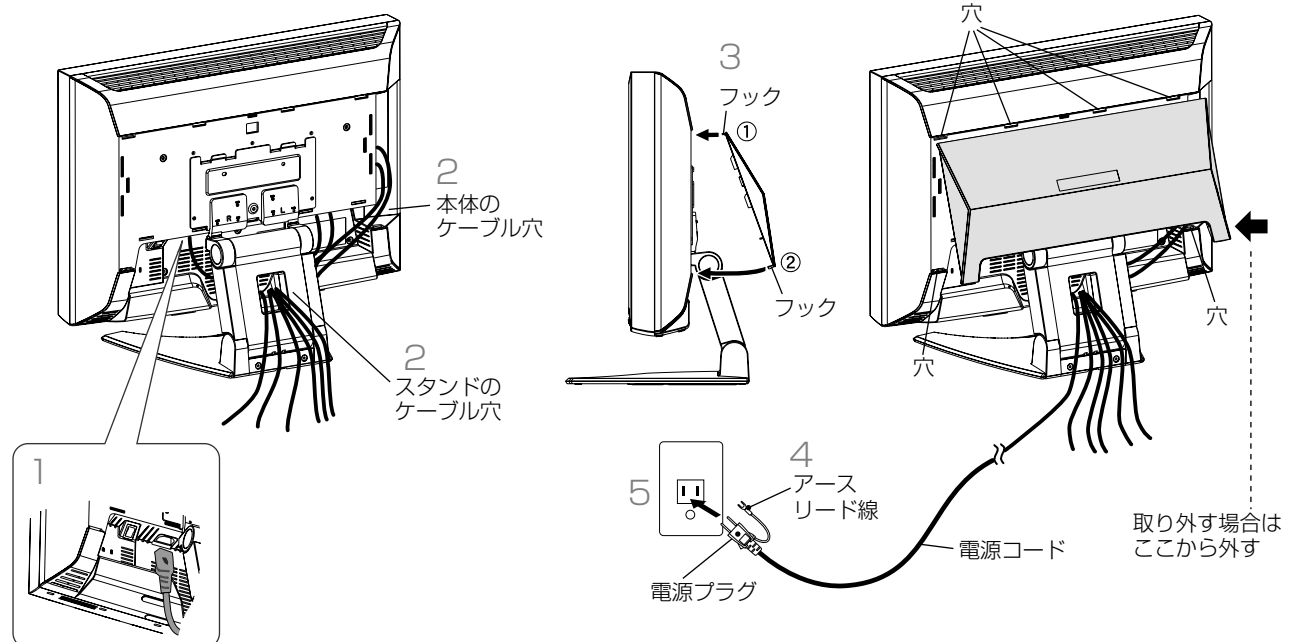
- 画面を上下に動かし(→P19)、ケーブル類に十分な余裕があるかどうかを確認してください。

⚠ 注意

- ・ 取り外す場合は、逆の手順でおこないます。その際は、◀部から取り外すと外しやすくなります。
- ・ 取り付け、取り外しの際は、バックカバーに顔を近づけたり爪をかけたりしないでください。バックカバーが急に外れたりして、けがの原因となることがあります。
- ・ バックカバーの取り付けの際は、ケーブルのはさみ込みにご注意ください。

4 アースリード線を接地(アース接続)する

5 電源プラグをAC100V電源コンセントに接続する



お願い

- 電源コードの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。
This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

⚠ 警告

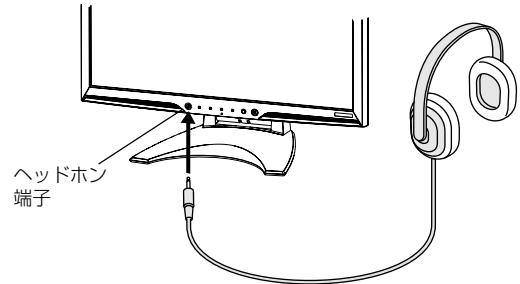
- 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- 本機には一般のご家庭のコンセント（AC100V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外（最大AC240V）でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
- 電源プラグのアースリード線は必ず接地（アース）してください。
なお、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

6 ヘッドホンを接続する場合

本機のヘッドホン端子にヘッドホンを接続して使用できます。

⚠ 注意

- ヘッドホンを耳にあてたまま接続しないでください。音量によっては耳を傷める原因となります。
- ヘッドホンをご使用の際は、音量を上げすぎないようにご注意ください。
大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



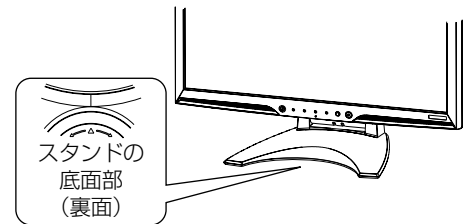
お知らせ

- 本機に接続できるのは、ステレオミニプラグ付きのヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換用プラグ（市販）をご使用ください。
- ヘッドホンを接続すると、スピーカーからの音声は消えます。

7 本機を使用する場所に設置する

お願い

- スタンド底面部にある△を右図のように手前に向けて設置してください。
△の位置がずれていると、左右均等にスィーベルしなくなります。



8 本機およびコンピューターの電源を入れる

5 調節をおこなう

1 画面の調節をおこなう

■ デジタル接続の場合

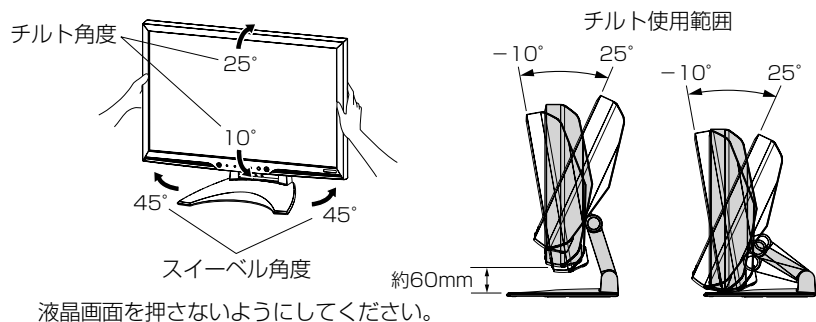
自動判別によって画面情報を設定しますので、画面の調節は不要です。

■ アナログ接続の場合

「自動調節をする（アナログ接続の場合のみ）」（→P21）の手順にしたがって自動調節をしてください。自動調節をおこなってもうまく表示されない場合は「画面調節（OSD機能）」（→P24）をご覧ください。

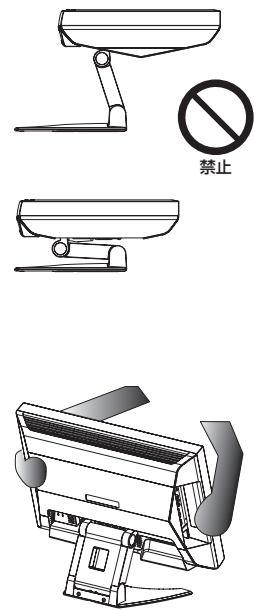
2 高さおよび角度を調節する

お好みに合わせて本機の高さおよび角度を調節してください。右図のように見やすい高さおよび角度に調節します。



⚠ 注意

- ・高さおよび角度の調節の際に、ディスプレイ部と設置面やスタンドベースとの間に手や指をはさまないように注意してください。けがの原因となります。
- ・ご使用開始直後の高さおよび角度の調節は、若干硬い場合があります。その場合は、本機の下を持って調節をおこなってください。
- ・本機は梱包のために画面をチルト角度25°を超えて傾けることが可能ですが、ご使用の際は25°以上傾けないでください。転倒したり、内部に熱がこもるなどしてけがや故障の原因となります。
- ・梱包のために画面をチルト角度25°を超えて傾ける場合は、高さ調節は最低位置に設定してください。高い位置の場合、転倒してけがや故障の原因となります。また、この場合、必ずバックカバーは取り外してください。本体背面とスタンドの間にはさまり、破損の原因となります。
- ・高さおよび角度調節時に液晶画面を押さないようにしてください。破損してけがや故障の原因となります。
- ・平らでない設置面や本機の高さ調節が低い位置の場合、スィーベルしにくいことがあります。無理にスィーベルさせると設置面を傷つける原因となりますので、本機の前側を持ち上げぎみにスィーベルさせることをおすすめします。



お知らせ

- チルト角度25°付近で動作が重くなり使用範囲との境界をお知らせします。

Windows®セットアップ情報とテストパターンについて

Windows®セットアップ情報

Windows®95/98/Me/2000/XP、Windows Vista®用のセットアップ情報は、下記の当社ホームページからダウンロードしてください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download

テストパターン

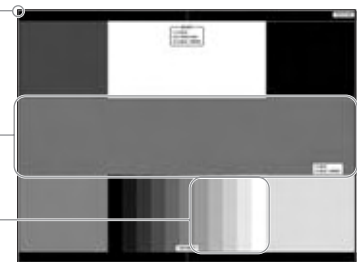
付属のユーティリティディスクには、テストパターンが入っています。このテストパターンはアナログ接続をした場合の画面調節の際に使用します。

ご使用方法については、ユーティリティディスクのREADMEをご覧ください。

画面調節メニューの左／右または下／上の項目で調節をおこない、白い枠が完全に見えるようにする。(→P30)

画面調節メニューの水平サイズまたは位相の項目で調節をおこない、白黒の縦じまがはっきりと見えるようにする。(→P30)

ブライトネス・コントラストメニューのコントラストで調節をおこない、白の階調差が見えるようにする。(→P28)



テストパターン表示画面

自動調節をする (PC接続のアナログ接続の場合のみ)

本機をコンピューターとアナログ接続の方法で接続したときは、最初に自動調節をおこないます。その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。(→P28~30)

自動調節はコントラストの自動調節と表示位置、水平サイズや位相の自動調節の2つに分かれています。2つともおこなってください。

お知らせ

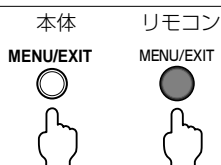
- 自動調節はアナログ接続をした際に、適切な画面を表示するよう、画面のコントラスト、表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。デジタル接続では自動調節は不要です。
- OSD画面を表示する方法など、操作のしかたの詳細については、「OSD画面の基本操作」(→P26)をご覧ください。

1 前面の電源スイッチおよびコンピューターの電源を入れる

2 本体の「INPUT/SELECT」ボタンまたはリモコンの映像入力切替 (D-SUB) ボタンを押して、映像入力を「D-SUB」に切り替える


3 画面全体に付属のユーティリティディスクのテストパターン (→P20) またはワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する

4 本体またはリモコンの「MENU/EXIT」ボタンを押して、OSD画面を表示する



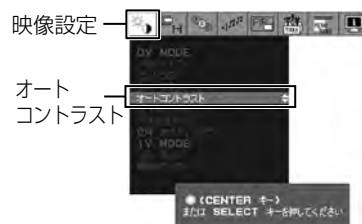
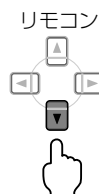
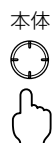
5 コントラストの自動調節をおこなう

1 本体


 ボタンを▼方向に5回動かして「映像設定」の「オートコントラスト」を選ぶ

リモコン

▼コントロールボタンを5回押して「映像設定」の「オートコントラスト」を選ぶ

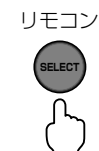


2 本体

 の中央ボタンまたは「INPUT/SELECT」ボタンを押す

リモコン


「SELECT」ボタンを押す



入力された信号レベルに合わせて、コントラストの自動調節を開始します。
「実行中・・・」の表示が消えたらコントラストの自動調節は完了です。
手順6に進みます。

6 表示位置、水平サイズ、位相の自動調節をおこなう

1 本体

コントラストの自動調節が完了した状態で、
 ボタンを ▲方向に5回、▶方向に1回の順に動かして「画面調節」の「自動調節」を選ぶ

リモコン

コントラストの自動調節が完了した状態で、▲
 コントロールボタンを5回、▶コントロールボ
 タンを1回押して「画面調節」の「自動調節」を
 選ぶ

または「自動調節」ボタンを押す

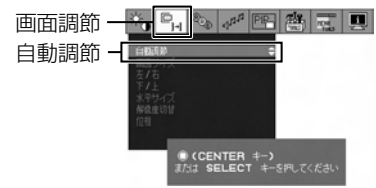
本体




リモコン



または



2 本体

 の中央ボタンまたは「INPUT/SELECT」
 ボタンを押す

リモコン

「SELECT」ボタンを押す

本体



または
 INPUT/SELECT



リモコン



入力された信号に合わせて、左右方向の表示位
 置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位
 相の自動調節を開始します。

「実行中…」の表示が消えたら調節完了です。
 これですべての自動調節が完了しました。

7 本体またはリモコンの「MENU/EXIT」ボタンを押し、OSD画面を消す

本体
 MENU/EXIT



リモコン
 MENU/EXIT



お願い

- DOSプロンプトのように文字表示のみの場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。(→P28~30)
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。
- 白い部分が極端に少ない画像の場合は、自動調節がうまく機能しないことがあります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。

ゲームやDVDを見る

お知らせ

- ゲーム機器や映像機器を接続 (→P15~17) してからご使用ください。
- ゲーム機器や映像機器の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

1 前面の電源スイッチまたはリモコンの「電源」ボタン押して、電源を入れる

2 本体の「INPUT/SELECT」ボタンまたはリモコンの映像入力切替ボタンを押し、入力を「HDMI1」、「HDMI2」、「VIDEO1」または「VIDEO2」に切り替える

お知らせ

- HDCP対応の機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。また、入力切替、PIP、音声入力を変更された場合も、条件によっては、機器とのリンクが切れ、すぐに画面が表示されないことがあります。数秒程度お待ちください。数秒待っても画面が表示されない場合、下記操作をおこなってください。
 - ・一度信号ケーブルを抜き、再度接続しなおしてください。
 - ・映像機器側の電源を一度切り、再度電源を入れなおしてください。

3 画面のアスペクト比を調節する (→P38)

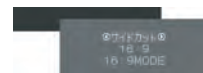
OSD機能の「画面調節」の「AVアスペクト」で、アスペクト比を選択してください。「AVアスペクト」を選択するには、最初に「画面サイズ」で「アスペクト」を選択してください。

お知らせ

- D1信号、D2信号 (→P40) のとき「AUTO」、「4:3」、「16:9」、「16:9MODE」(D2信号のみ選択可)、「オフ」が選択できます。通常は「AUTO」に設定してください。「AUTO」の設定で、画面が正しいアスペクト比で表示されない場合、手動でアスペクト比を選択してください。
- D3信号 (→P40) のとき「AVアスペクト」は選択できません。
- D4信号、D5信号 (→P40) のとき「16:9」、「サイドカット」、「16:9MODE」が選択できます。
- 「サイドカット」、「16:9MODE」選択時「スルーモード」がオンになります。



D1、D2信号のとき



D4、D5信号のとき

4 オーバースキャン率を調節する (→P37)

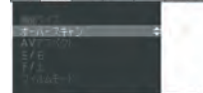
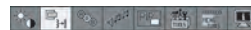
OSD機能の「画面調節」の「オーバースキャン」で、オーバースキャン率を選択してください。

「100% (FULL)」に設定した場合、映像によっては画面の端部分にノイズが見えることがあります。

「オーバースキャン」の設定を変更することで、画面の端部分のノイズを隠すことができます。

お知らせ

- 「オーバースキャン」を「100% (FULL)」以外に設定した場合、PIP機能が使用できなくなる場合があります。
- 「スルーモード」がオンのときは、「オーバースキャン」は調節できません。



設
接

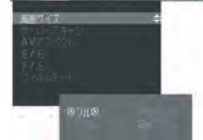
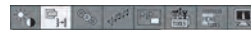
定
続

5 画面サイズを調節する (→P30、37)

OSD機能の「画面調節」の「画面サイズ」で、画面サイズを選択してください。

お知らせ

- 『3 画面のアスペクト比を調節する』『4 オーバースキャン率を設定する』で調節された映像に対して、画面サイズが適用されます。
- 「スルーモード」がオンのときは、「リアル」、「2xズーム」は調節できません。



6 OSD機能の「映像設定」の「DV MODE」(→P28、37) で、DV MODEを切り替える

7 OSD機能の「映像設定」の「MP MODE」(→P28、37) で、MP MODEを切り替える

お知らせ

- 「MP MODE」を「レベル1」～「レベル3」に設定した場合は、画面がちらついて見えることがあります。

8 音量を調節する (→P32、39)

本体の ボタンを 方向に動かす、リモコンの音量調節ボタンを押す、またはOSD機能の「音声設定」の「音量」で、音量を調節してください。

消音するときは、 の中央ボタンを押してください。

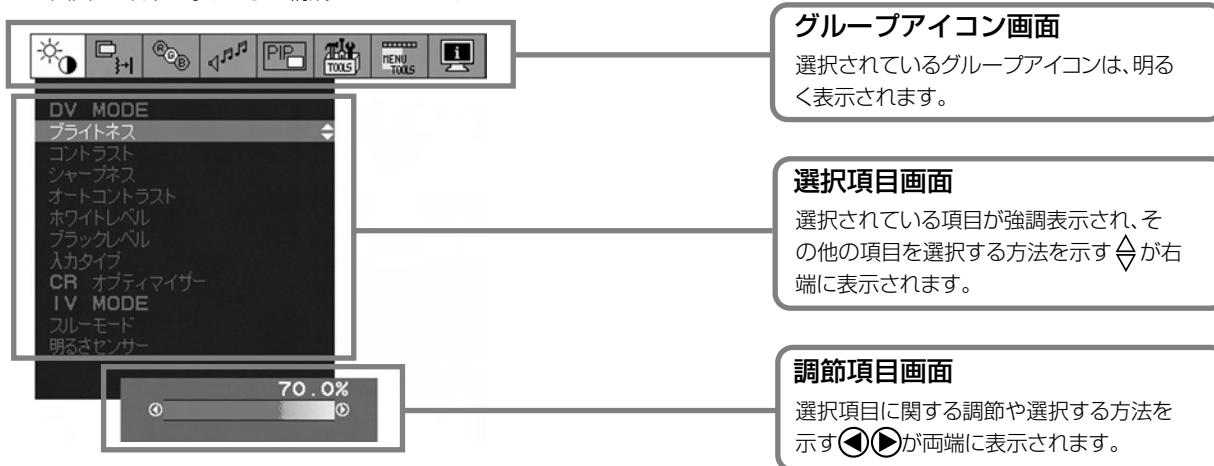
消音を解除するときは、再度 の中央ボタンを押してください。

画面調節 (OSD 機能)

本機には画面の調節が簡単にできるOSD(On Screen Display)機能がついています。OSD機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節等をおこないます。

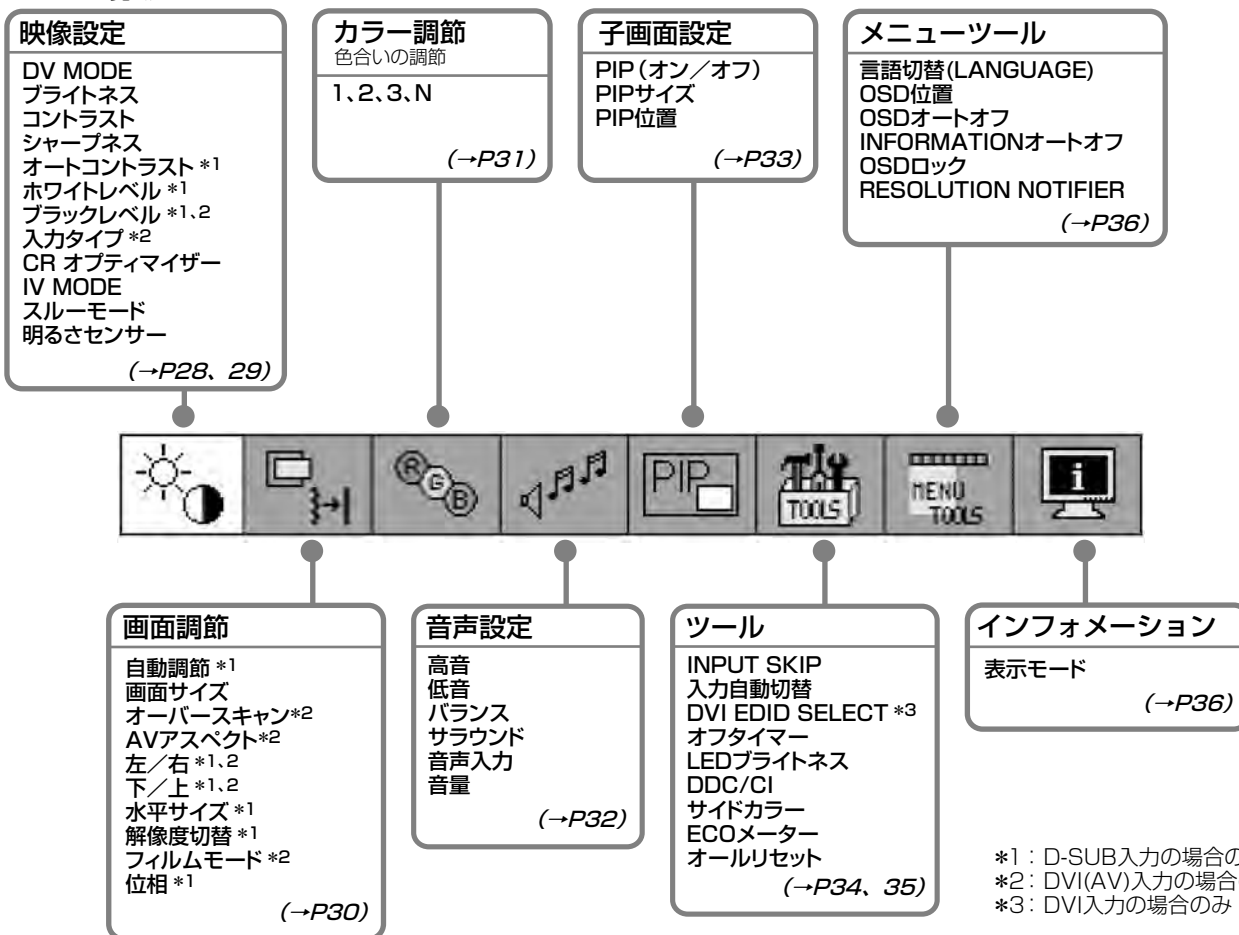
OSD画面の構成

OSD画面は、以下に示すような構成になっています。



グループアイコンの構成 (PC入力選択時)

各グループアイコンは以下に示すような構成になっています。選択項目の詳細については、各グループアイコンの説明ごとに記載されているページをご覧ください。

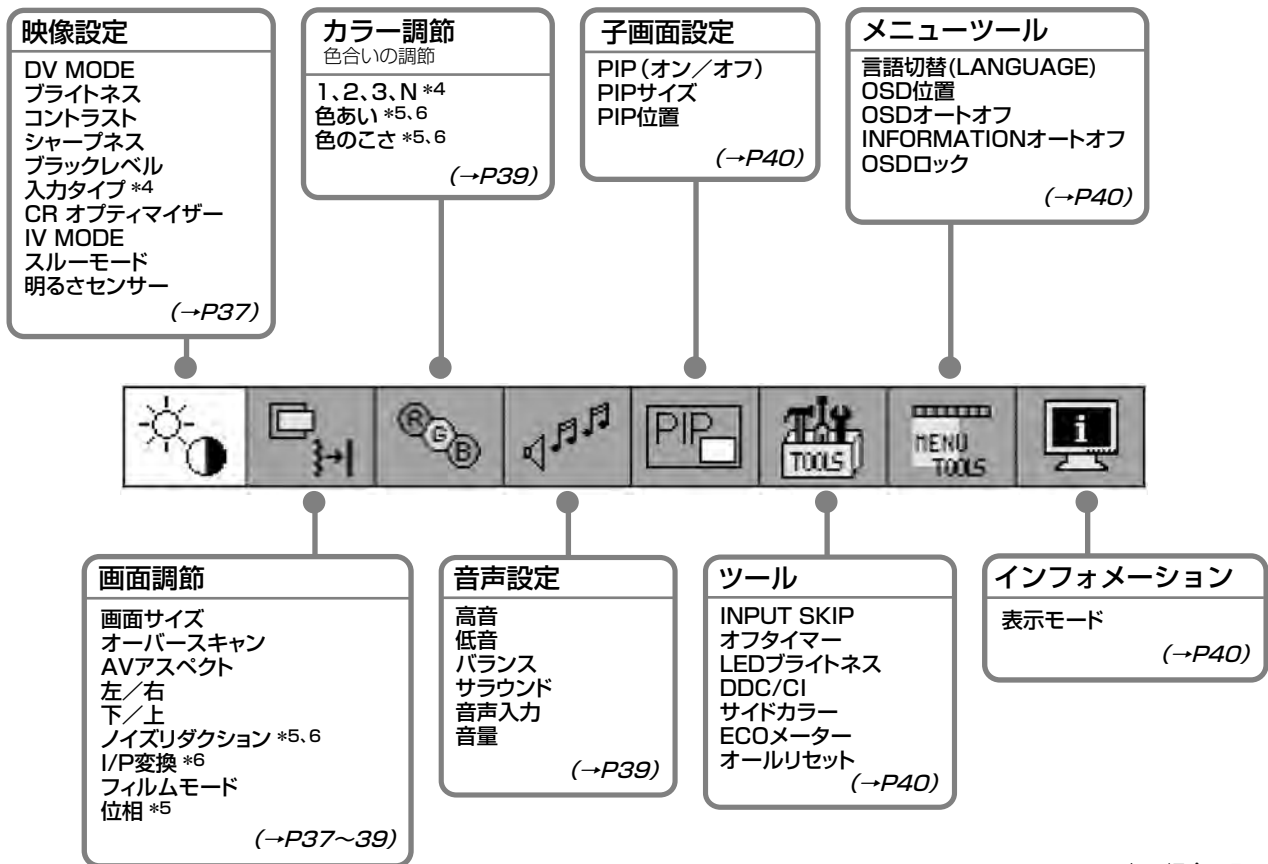


お知らせ

本機は一般的なコンピューター (→P3) と、「デジタル接続」した場合は、自動的に適切な画面を表示します。「アナログ接続」でも自動調節すれば自動的に適切な画面を表示します。(→P21) ただし、コンピューターによっては画面にちらつきや、にじみが生じることがあります。また、入力信号によってはうまく表示できないこともあります。その場合はOSD機能を使用して画面の調節 (→P30) をおこなってください。この場合、調節後の画面情報が記憶されます。

グループアイコンの構成 (HDMI・ビデオ入力選択時)

各グループアイコンは以下に示すような構成になっています。選択項目の詳細については、各グループアイコンの説明ごとに記載されているページをご覧ください。



*4: HDMI入力の場合のみ
 *5: VIDEO1入力の場合のみ
 *6: VIDEO2入力の場合のみ

OSD画面の基本操作


ここでは、OSD画面の基本操作のしかたをコントラストを調節する場合を例にとって説明します。その他の選択項目の詳細内容については「OSD機能の各選択項目について」(→P28、37)をご覧ください。

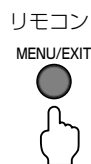
例：コントラストを調節して100%にする。

1 本体またはリモコンの「MENU/EXIT」ボタンを押してOSD画面を表示する

現在選択中のグループアイコンが明るく表示されます。

お知らせ

- もう一度本体またはリモコンの「MENU/EXIT」ボタンを押すとOSD画面が消えます。
- OSD画面の表示位置は変えることができます。選択項目の「メニューツール」(→P36)をご覧ください。
- 他のグループアイコンを選ぶ場合は、下の例のように本体の  ボタンを \blacktriangleleft 方向に動かすか、リモコンの \blacktriangleleft コントロールボタンを押して左右に移動します。



例：カラー調節を選ぶ

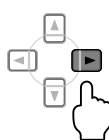
本体



2つ移動



リモコン



2つ移動

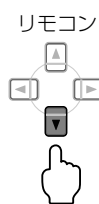
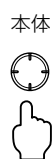


2 本体の ボタンを \blacktriangledown 方向に動かす、またはリモコンの \blacktriangledown コントロールボタンを押して、選択項目画面に入る

現在選択中の選択項目が青色に反転表示され、調節項目画面が表示されます。

お知らせ

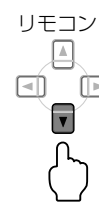
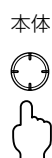
- 途中で作業をやめる場合は、本体またはリモコンの「MENU/EXIT」ボタンを押すとグループアイコン画面に戻ります。



3 本体の ボタンを \blacktriangledown 方向に動かす、またはリモコンの \blacktriangledown コントロールボタンを押して、「コントラスト」を選択する

お知らせ

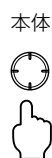
- 途中で作業をやめる場合は、本体またはリモコンの「MENU/EXIT」ボタンを押すとグループアイコン画面に戻ります。



4 本体の ボタンを \blacktriangleleft 方向に動かす、またはリモコンの \blacktriangleleft コントロールボタンを押して、「コントラスト」を調節する

お知らせ


- ここで設定したDV MODE、ブライトネス、コントラスト、シャープネス、ホワイトレベル、ブラックレベル、CRオプティマイザー、IV MODE、入力タイプ、画面調節、カラー調節(1,2,3のみ)、音声調節、PIP調節、OSD画面表示位置、OSDオートオフ、オフタイマー、INFORMATIONオートオフ、LEDブライトネス、サイドカラーは、「オールリセット」で出荷時の状態に戻すことができます。(→P35)



5 本体またはリモコンの「MENU/EXIT」ボタンを2回押して、OSD画面を消す

1回押すとグループアイコン画面に戻り、2回目でOSD画面が消えます。

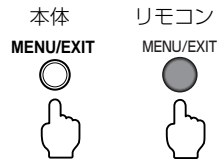
お知らせ

-  ボタンを▲方向に動かす、またはリモコンの▲コントロールボタンを押して、選択項目画面からグループアイコン画面に戻ることができます。

以上でコントラストの調節は完了です。

お知らせ

- 本体またはリモコンのボタンのいずれも押さず、OSDオートオフ(→P36)で設定された時間が経過すると、OSD画面は自動的に消えます。
- 調節する項目によっては、OSDメッセージが表示され、メッセージ内で操作方法を指示しているものがあります。その場合はメッセージの指示にしたがって操作してください。



OSD機能の各選択項目について (PC入力選択時)

ここでは、各選択項目の詳細内容を説明します。



映像設定

■DV MODE (Dynamic Visual MODE)

DV MODEをお好みに応じて切り替えます。

スタンダード1：標準の設定です。

(工場出荷設定)

スタンダード2：標準の設定です。カラー調節のSATURATION、HUEが調節できます。

IVテキスト：全体の明るさを抑え、通常のワープロや表計算ソフト等に適した設定です。

sRGB：色再現国際規格sRGB (→P52) に対応した色で表現します。

TV：テレビに適した設定です。

ゲーム1：中間階調にメリハリをつけ、より迫力のある画像を提供するゲームに適した設定です。

ゲーム2：ゲーム1より中間階調にメリハリをつけ、より迫力のある画像を提供するゲームに適した設定です。

シネマ：暗いシーンの階調表現力を引き上げ、奥行き感を再現する映画に適した設定です。

お知らせ

- OSD画面が表示されていない状態で「DV MODE/RESET」ボタンを押すごとに、「スタンダード1」→「スタンダード2」→「IVテキスト」→「sRGB」→「TV」→「ゲーム1」→「ゲーム2」→「シネマ」→「スタンダード1」…の順に、直接DV MODEを切り替えることができます。
- 「スタンダード1」、「IVテキスト」、「sRGB」、「ゲーム1」、「ゲーム2」が選択されると、カラー調節はできません。
- 「スタンダード1」、「IVテキスト」、「sRGB」、「ゲーム1」、「ゲーム2」が選択されると、CRオプティマイザー、IV MODEは無効となります。

■MP MODE (Motion Picture MODE)

ゲームや映画など動画を楽しむ場合に、動きの速い映像でも、ぼやけ感をおさえてブレの少ないくっきりとした動画を再現します。コンテンツの動きに応じて切り替えます。

オフ：MP MODEは、はたらきません。

レベル1：動きの少ない動画に適しています。

レベル2：ある程度動きのある動画に適しています。

レベル3：レーシング系ゲームなど、動きの速い動画に適しています。

ぼやけ感の改善効果は、次のようになります。

(効果大) レベル3 > レベル2 > レベル1 (効果小)

お知らせ

- DV MODEで「IVテキスト」、「sRGB」が選択されているときは、MP MODEの切り替えはできません。(この場合は、「オフ」になります。)
- MP MODEを「レベル1」～「レベル3」に設定した場合は、画面がちらついて見えることがあります。
- MP MODEを「レベル1」～「レベル3」に設定した場合は、画面の明るさが次のようになります。
(明) オフ > レベル1 > レベル2 > レベル3 (暗)
- 静止画でのご使用の場合は、「オフ」の設定をおすすめします。
- 垂直周波数が60 Hz以外の場合、スルーモードとMP MODE(レベル1、2、3)は併用できません。この場合、スルーモードがオフになります。または選択できません。
- OSD画面が表示されていない状態で「MP MODE/PIP」ボタンを押すごとに「オフ」→「レベル1」→「レベル2」→「レベル3」→「オフ」…の順に、直接MP MODEを切り替えることができます。

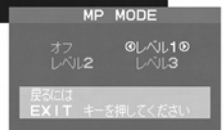
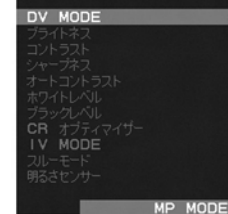
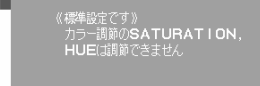
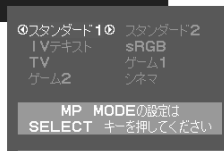
■ブライトネス

調節バー (0.0%~100.0%) が表示されます。☉ ボタンを◀▶方向に動かす、またはリモコンの◀▶コントロールボタンを押して、画面をお好みの明るさに調節してください。

DV MODEごと設定でき、MP MODE による明るさの変化を少なくできます。

■コントラスト

調節バー (0.0%~100.0%) が表示されます。☉ ボタンを◀▶方向に動かす、またはリモコンの◀▶コントロールボタンを押して、画面をお好みのコントラストに調節してください。



■シャープネス

調節バー (0.0%~100.0%) が表示されます。⦿ ボタンを ◀▶ 方向に動かして、文字や画像のキレをお好みに応じて調節してください。

■オートコントラスト (D-SUB(RGB)入力の場合のみ)

コントラストを自動調節します。自動調節の詳細手順については「自動調節をする」(→P21) をご覧ください。

■ホワイトレベル (D-SUB入力の場合のみ)

白レベルを手動調節します。画面の明るい部分に注目して調節をおこなってください。

■ブラックレベル (D-SUB/DVI(AV)入力の場合のみ)

黒レベルを手動調節します。画面の暗い部分に注目して調節をおこなってください。

■入力タイプ (DVI(AV)入力の場合のみ (→P35))

入力映像に対して、黒白伸張を行うかどうかを選択します。

AVモード：ゲーム機器やDVDプレーヤーの映像を視聴する場合に選択してください。黒白伸張されます。(工場出荷設定)

PCモード：コンピュータの映像を視聴する場合に選択してください。黒白伸張は行いません。

お知らせ

- 映像が黒浮きしているような場合、「AVモード」を選択してください。
- 映像の黒領域、白領域の階調がつぶれているような場合、「PCモード」を選択してください。

■CRオプティマイザー

CRオプティマイザー(コントラストレシオオプティマイザー)機能をオン/オフします。

お知らせ

DV MODEで「スタンダード1」、「IVテキスト」、「sRGB」、「ゲーム1」、「ゲーム2」または、MP MODEで「レベル1」、「レベル2」、「レベル3」が選択されているときは、CRオプティマイザーはオンできません。

■IV MODE (Intelligent Visual MODE)

使用される方に合わせて、目の疲労をやわらげるよう、画面の明るさを選ぶことができます。

オフ： IV MODEは、はたらきません。

ジュニア： 長時間で使用になるときや、アニメなど明るさの変化が大きいときにおすすめします。

ミドル： まぶしさを抑えつつ、くっきりした画面にします。

シニア： 画面全体が明るいときのまぶしさを抑えます。

お知らせ

DV MODEで「スタンダード1」、「IVテキスト」、「sRGB」、「ゲーム1」、「ゲーム2」または、MP MODEで「レベル1」、「レベル2」、「レベル3」が選択されているときは、IV MODEはオンできません。

■スルーモード：

ディスプレイ内部の映像信号の遅延時間を短縮するモードです。映像と音声のズレが気になる場合にご使用ください。

お知らせ

- 「スルーモード」は、画像処理の機能を制限することで、遅延時間短縮を実現しています。このため、色調節など、いくつかの機能が使用できなくなります。また、映像の種類によっては、階調のなめらかさが損なわれるなど、画質が低下する場合があります。
- 「スルーモード」を使用しても、映像と音声完全に同期しない場合があります。
- 静止画での使用の場合は、「スルーモード」をオフで使用することをおすすめします。
- 「スルーモード」をオンするとPIPは消え、使用できません。
- 画面サイズで「リアル」、「2xズーム」が選択されているときは、「スルーモード」はオンできません。
- DVI(AV)、HDMI、VIDEO入力のときは下記の制約が追加されます。
「スルーモード」をオンするとオーバースキャンはFULL(100%)になります。
AVアスペクトで「AUTO」(16:9入力信号時)、「16:9」が選択されているときに、「スルーモード」をオンにすると自動で「16:9MODE」に切り替ります。
- 垂直周波数が60 Hz以外の場合、スルーモードとMP MODE(レベル1、2、3)は併用できません。この場合、スルーモードがオフになります。または選択できません。

■明るさセンサー

室内の明るさを感知する明るさセンサーの感度を切り替えます。

オフ： 明るさセンサーは、はたらきません。

弱： 明るさセンサーの感度を弱くします。

中： 明るさセンサーの感度を中程度にします。

強： 明るさセンサーの感度を強くします。



画面調節

■自動調節 (D-SUB(RGB)入力の場合のみ)

左右、上下方向の表示位置、水平サイズや位相を自動調節します。
自動調節の詳しい手順については「自動調節をする」(→P21)をご覧ください。



■画面サイズ

自動的に表示画面を拡大する機能です。入力信号の解像度が表示画素数より低い場合に機能します。

- フル：** 入力映像信号を画面全体に拡大します。
アスペクト比 (縦横比率) が16:10以外の信号が入力された場合、アスペクト比が変わります。
- アスペクト：** 入力映像信号のアスペクト比を保持したまま、できるだけ画面いっぱい映像信号を拡大します。
このため、入力される映像信号によっては、表示画面が縦または横方向に十分拡大されません。
- リアル：** 入力映像信号の解像度のままで表示します。(画面は拡大されません。)
- 2xズーム：** 入力映像信号の解像度を縦横2倍に拡大表示します。

お知らせ

- 「フル」以外に設定すると、PIP表示できなくなる場合があります。その場合は、「フル」に設定してください。
- 一部の解像度では画面全域には拡大されません。入力信号によっては表示画面が縦または横方向に十分拡大されないことがあります。
- 2xズーム機能は、960x600以下の解像度の信号が入力された場合にのみ有効です。これより大きな解像度の信号が入力された場合は、「2xズーム」が選択されていても、「リアル」として表示されます。
- 「スルーモード」がオンのときは、「リアル」、「2xズーム」が選択できません。

■オーバースキャン (DVI(AV)入力の場合のみ) (→P37, 38)

■AVアスペクト (DVI(AV)入力の場合のみ) (→P38, 39)

■左/右 (D-SUB/DVI(AV)入力の場合のみ)

調節バー (0.0%~100.0%) が表示されます。本体の ボタンを 方向に動かす、またはリモコンの コントロールボタンを押して、左右方向の表示位置を調節してください。

■下/上 (D-SUB/DVI(AV)入力の場合のみ)

調節バー (0.0%~100.0%) が表示されます。本体の ボタンを 方向に動かす、またはリモコンの コントロールボタンを押して、上下方向の表示位置を調節してください。

■水平サイズ (D-SUB入力の場合のみ)

画面に縦縞が現われるときや左右の画面サイズが合っていないときに調節します。
調節バー (0.0%~100.0%) が表示されます。本体の ボタンを 方向に動かす、またはリモコンの コントロールボタンを押して、水平サイズを調節してください。

■解像度切替 (D-SUB入力の場合のみ)

入力信号の解像度を、手動にて直接指定することができます。
入力信号によっては、解像度を正しく自動判別できない場合があります。
その場合、本機能にて直接解像度を指定することにより、指定の解像度で画面が表示されるようになります。



お知らせ

- OSD上に表示されている解像度以外の信号 (例：640x480) が入力された場合は、本機能は、はたらきません。

■フィルムモード (DVI(AV)入力の場合のみ) (→P39)

■位相 (D-SUB入力の場合のみ)

画面に横方向のノイズが表示されたり、文字のにじみ、輪郭のぼやけが起こった場合に調節します。
調節バー (0.0%~100.0%) が表示されます。本体の ボタンを 方向に動かす、またはリモコンの コントロールボタンを押して、位相を調節してください。



カラー調節

お好みに応じて画面の色合いを調節することができます。色の割合を変更した値を保存することもできます。

■1、2、3

1、2、3の各設定値は ボタンを 方向に動かすと、RED：赤、GREEN：緑、BLUE：青のそれぞれの色について色の割合が調節できます。

GAIN (ゲイン)：

それぞれの色*1について色の濃さを調節できます。値を大きくすると、選択している色が鮮やかになります。

OFFSET (オフセット)：

それぞれの色*1について黒レベルを調節できます。値を大きくすると、選択している色が明るくなります。

SATURATION (彩度)：

色の濃さを調節できます。値を大きくすると、画面全体の色が鮮やかになります。

HUE (色合い)：

それぞれの色*2について色合いを調節できます。 ボタンを 方向に動かすと、レベルバーの左端または右端の色へ近づきます。

*1 RED：赤色、GREEN：緑色、BLUE：青色

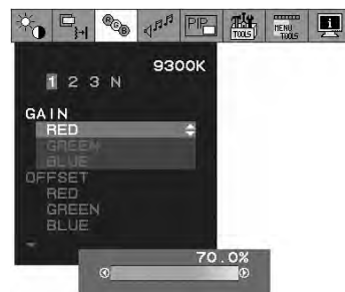
*2 RED：赤色、YELLOW：黄色、GREEN：緑色、CYAN：水色、BLUE：青色、MAGENTA：紫色

お知らせ

- DV MODEで「スタンダード1」、「IVテキスト」、「sRGB」、「ゲーム1」、「ゲーム2」が選択されているときは、SATURATION (彩度)、HUE (色合い) の調節はできません。
- 「DV MODE/RESET」 ボタンを押した後、「INPUT/SELECT」 ボタンを押すと、色の設定を工場設定値に戻します。

■N (NATIVE)

液晶パネル本来の色合いで表示します。(調節できません)





音声設定

■高音

本体の ボタンを ◀▶ 方向に動かす、またはリモコンの ◀▶ コントロールボタンを押して、高音域の音量を調節します。

■低音

本体の ボタンを ◀▶ 方向に動かす、またはリモコンの ◀▶ コントロールボタンを押して、低音域の音量を調節します。

■バランス

本体の ボタンを ◀▶ 方向に動かす、またはリモコンの ◀▶ コントロールボタンを押して、左右の音のバランスを調節します。◀ 方向に動かすと左の音が大きくなり、▶ 方向に動かすと右の音が大きくなります。

■サラウンド

サラウンド機能を切り替えます。

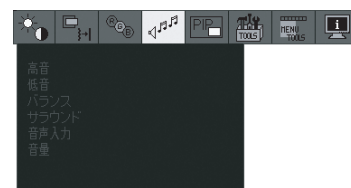
オフ：サラウンド機能を無効にします。

オン：サラウンド機能を有効にします。

■音声入力

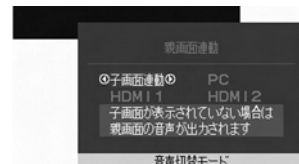
機器との接続を変更することなく、音声入力のみを切り替えることができます。

親画面連動：親画面の映像入力が切り替わると、連動して音声入力も切り替わります。
(工場出荷設定) 替わります。



親画面連動を選択時

子画面連動：子画面の映像入力が切り替わると、連動して音声入力も切り替わります。子画面が表示されていない場合は、親画面の音声入りに切り替わります。
OSD上、緑色のバーで「音声切替モード」になっていることをお知らせします。



子画面連動を選択時

音声固定：お好みの音声入力を選ぶことができます。また、映像入力を切り替えても音声入力は切り替わりません。
OSD上、緑色のバーで「音声切替モード」になっていることをお知らせします。



音声固定の「PC」を選択時

お知らせ

- OSD画面が表示されていないときに、「INPUT/SELECT」ボタンを **長押し** すると、この「音声入力」設定画面にジャンプします。
- 「親画面連動」以外を選択しているとき、入力によっては、音声が出力されない場合があります。
- 親画面か子画面にDVI入力の画面が表示されている場合、HDMI1、HDMI2の音声は出力されず、無音となります。
- 親画面か子画面にHDMI1入力の画面が表示されている場合、HDMI2の音声は出力されず、無音となります。PC音声は選択可能です。
- 親画面か子画面にHDMI2入力の画面が表示されている場合、HDMI1の音声は出力されず、無音となります。PC音声は選択可能です。

■音量

ボタンを ◀▶ 方向に動かして、音量を調節します。

の中央ボタンで消音機能をオン/オフします。

お知らせ

- 本機は二重音声（二カ国語音声）には対応していません。



子画面設定



■PIPオン/オフ

通常画面内にどの入力信号を子画面として表示するかを選択します。
オフを選択するとPIP機能は働きません。

PIP (Picture In Picture) 機能は、親画面の中に子画面を表示し、コンピューター画面とTV・ビデオ画面を同時に視聴する機能です。対応する親画面と子画面の組み合わせは次のとおりです。

親画面 \ 子画面	D-SUB	DVI-D	HDMI1	HDMI2	VIDEO1	VIDEO2
D-SUB	×	○	○	○	×	○
DVI-D	○	×	×	×	○	○
HDMI1	○	×	×	×	○	○
HDMI2	○	×	×	×	○	○
VIDEO1	×	○	○	○	×	○
VIDEO2	○	○	○	○	○	×

お知らせ

- 子画面の音声を出力させたい場合は、OSD機能の「音声設定」の「音声入力」(→P32)を「子画面連動」に設定してください。
- 映像信号の垂直周波数が60Hz以外の場合、PIP表示できない場合があります。
- 「画面調節」の「画面サイズ」「オーバースキャン」「AVアスペクト」の設定によっては、PIP表示できない場合があります。
- スルーモードがオンのときはPIPは使用できません。

■PIPサイズ

子画面の大きさを設定します。映像信号の種類によって、適切な縦横比で、子画面表示します。

	スモール	ミドル	ラージ
4:3映像信号	400×300	520×390	640×480
5:4映像信号	400×320	520×416	640×512
ワイド映像信号 (16:9)	400×225	520×292	640×360
ワイド映像信号 (16:10)	400×250	520×325	640×400

■PIP位置

本体の ボタンを上下左右 () に動かす、またはリモコンの コントロールボタンを押して任意の位置に子画面を移動します。



ツール

■INPUT SKIP

「スキップ」に設定することで、入力を強制的に無効にすることができます。「スキップ」に設定した入力は、「INPUT/SELECT」ボタンを押しても切り替わらず、スキップされます。ご使用にならない入力を「スキップ」に設定することにより、入力切替をよりスムーズに行うことができます。

「スキップ」に設定すると、入力切替時OSD下側に緑色で「スキップモード」と表示されるようになり、スキップモードになっていることをお知らせします。

再度、入力を有効にする場合は、「表示する」に設定してください。

お知らせ

- 工場出荷時の設定は「表示する」です。
- 全入力を一度に「スキップ」に設定することはできません。
- 「スキップ」に設定した入力は、PIP画面として選択できなくなります。

- 無信号の状態でも設定可能です。
「NO SIGNAL」の画面が表示されているときに、「INPUT/SELECT」ボタンを**長押し**すると、「スキップモード」の画面が表示され、設定可能となります。

■入力自動切替

複数の入力がある場合に、入力信号があるコネクタを自動的に選択する機能です。選択されているコネクタはOSD画面のインフォメーションで確認できます。

オン： 現在表示しているコネクタからの入力信号がなくなったとき、他のコネクタから信号を入力している場合は表示を自動的に切り替えます。

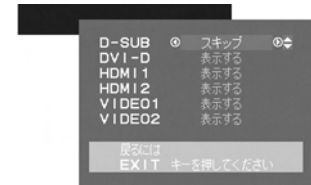
オフ： 入力信号の表示の自動切替をおこないません。

お知らせ

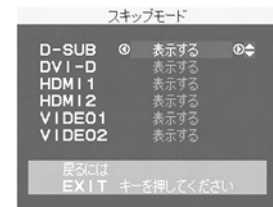
- PC接続（DVIおよびD-SUB接続）にのみ対応しています。
- 変換ケーブルや変換コネクタなどを使用して、HDMI1、HDMI2、VIDEO1、VIDEO2にPC信号を入力することが可能ですが、これらの入力に対して入力自動切替機能ははたらきません。この場合は、「INPUT/SELECT」ボタンを押して、入力を切り替えてください。



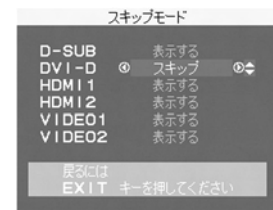
設定画面（スキップなし）



設定画面（スキップあり）



設定画面（スキップなし）



設定画面（スキップあり）

■DVI EDID SELECT

DVI入力コネクタの入力モードを選択します。




PC： DVI入力コネクタにコンピューターを接続する場合。
(工場出荷設定)

AV： DVI入力コネクタにゲーム機器やDVDプレーヤーを接続する場合。(→P15~17)

お知らせ

- 画面に「NO SIGNAL」が表示されていても操作は可能です。(→P41)
- DVI-D入力にのみ対応しています。




■オフタイマー

本機の電源を入れたあと、設定された時間になると電源が自動的に切れるようにする機能です。本体の  ボタンを  方向に動かす、またはリモコンの  コントロールボタンを押して、1時間から24時間まで、1時間ごとの設定が可能です。電源を切り忘れても自動的に切れるため、電力の削減に有効です。




お知らせ

- オフタイマーを設定した場合は、設定時間が経過すると使用中でも電源が自動的に切れます。





■LEDブライトネス

調節バー (0.0%~100.0%) が表示されます。本体の  ボタンを  方向に動かす、またはリモコンの  コントロールボタンを押して、電源ランプをお好みの明るさに調節してください。

■DDC/CI

DDC/CI (→P52) 通信による各種操作を制限する機能です。本体の  ボタンを  方向に動かす、またはリモコンの  コントロールボタンを押して、DDC/CI通信をオン/オフします。

■サイドカラー

画面サイズでアスペクト表示した場合の両端の画像のない部分の色を調節します。本体の  ボタンを  方向に動かす、またはリモコンの  コントロールボタンを押して、R、G、Bの中から色を選択し、 方向に動かしてそれぞれの色を調節します。

■ECOメーター

節電した省エネ効果を表示します。

省エネ電力1

電源オン時の積算した省エネ効果を消費電力量 (Wh) で表示します。

省エネ電力2

電源スイッチオフおよびパワーマネージメント機能動作時を含む全ての積算した省エネ効果を消費電力量 (Wh) で表示します。

ECOメーター表示

オフ： ECOメーターを表示しません。
(工場出荷設定)

オン： 画面右下にECOメーターを表示します。省エネ効果を電力 (W) で表示します。

ECOメーター シースルー：
ECOメーターの濃さを調節します。

お知らせ

- 消費電力量 (Wh) の表示をリセットした場合、省エネ電力1、省エネ電力2共表示が「0」Whに戻ります。
- IV MODE、CRオプティマイザー、ブライトネスの設定により、省エネ効果が期待できます。
- 本機能は、音量の電力には対応していません。
- 低減した消費電力量 (Wh) および電力 (W) の値は目安です。

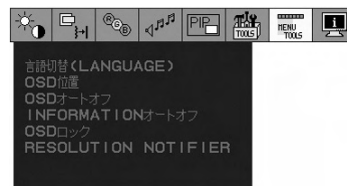
■オールリセット

DV MODE、ブライトネス、コントラスト、シャープネス、ホワイトレベル、ブラックレベル、CRオプティマイザー、IV MODE、入力タイプ、画面調節、カラー調節(1、2、3のみ)、音声調節、PIP調節、OSD画面表示位置、OSDオートオフ、オフタイマー、INFORMATIONオートオフ、LEDブライトネス、サイドカラーを工場出荷時の状態に戻すことができます。画面の指示に従って、リセット処理を実施してください。





メニューツール



■言語切替(LANGUAGE)

OSD画面の表示言語のリストが表示されます。本体の ボタンを 方向に動かす、またはリモコンの コントロールボタンを押して、表示言語を切り替えてください。

■OSD位置

本体の ボタンを 方向に動かす、またはリモコンの コントロールボタンを押して、OSD画面をお好みの位置に調節してください。

■OSDオートオフ

OSD画面を表示させたあと、設定された時間になるとOSD画面が自動的に消えるようにする機能です。本体の ボタンを 方向に動かす、またはリモコンの コントロールボタンを押して、10秒から120秒まで、5秒ごとの設定が可能です。

■INFORMATIONオートオフ

案内画面や注意画面(→P44)の表示時間を設定します。設定された時間になると案内画面や注意画面が自動的に消えます。本体の ボタンを 方向に動かす、またはリモコンの コントロールボタンを押して、1秒から10秒まで、1秒ごとの設定が可能です。また、「オフ」に設定すると、本体またはリモコンの「MENU/EXIT」ボタンが押されるまで案内画面や注意画面を表示し続けます。

■OSDロック

誤って調節してしまうことを防ぐためのOSD画面操作禁止機能です。OSDロック中でもブライトネスとコントラストは調節可能です。OSDロックの設定/解除の操作はリモコンではできません。以下の手順にしたがって、本体のボタンで操作してください。

お知らせ

- ボタンを 方向に動かして、コントラストを調節することができます。OSDロックのときには、音量を調節することはできません。
- OSDロック中は、リモコンでの操作はできません。

OSDロックの設定

OSD画面を表示し、メニューツールの「OSDロック」が選択されている状態で「INPUT/SELECT」ボタンを押しながら ボタンを 方向に動かしてください。



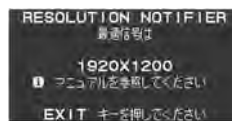
OSDロック設定後のOSD画面

OSDロックを解除する

右のようなOSDロック状態画面を表示させた状態で、「INPUT/SELECT」ボタンを押しながら ボタンを 方向に動かしてください。

■RESOLUTION NOTIFIER

最適の解像度以外の信号を入力している場合、推奨信号の案内画面を表示する機能をオン/オフします。操作の手順については、「OSD画面の基本操作」(→P26)を参考にしてください。



RESOLUTION NOTIFIER画面

お知らせ

- 本機能は、D-SUB、DVI-D入力時のみ有効です。HDMI1、HDMI2、VIDEO1、VIDEO2入力では、本設定に関係なく、案内画面は表示されません。



インフォメーション

■表示モード

入力している信号の情報、MODEL(形名)とSERIAL NUMBER(製造番号)を表示します。



OSD機能の各選択項目について (HDMI、ビデオ入力選択時)

ここでは、HDMI、ビデオ入力選択時のみのOSD機能について、詳細内容を説明します。
(項目についての説明がないものはPC入力選択時(→P28~36)と同じです。)



映像設定

■DV MODE (Dynamic Visual MODE) (→P28)

- HDMI入力選択時
スタンダード1、スタンダード2、IVテキスト、sRGB、TV、ゲーム1、ゲーム2、シネマ
- ビデオ入力選択時
スタンダード1、スタンダード2、ゲーム1、ゲーム2、シネマ、TV



■MP MODE (Motion Picture MODE) (→P28)

- ブライトネス (→P28)
- コントラスト (→P28)
- シャープネス (→P29)
- ブラックレベル (→P29)
- 入力タイプ (→P29) (HDMI入力の場合のみ)
- CRオプティマイザー (→P29)
- IV MODE (→P29)
- スルーモード (→P29)
- 明るさセンサー (→P29)



画面調節

■画面サイズ (→P30)

自動的に表示画面を拡大する機能です。入力信号の解像度が表示画素数より低い場合に機能します。次の「オーバースキャン」「AVアスペクト」の機能で調節された映像に対して、画面を拡大します。

お願い

- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズ切替機能を利用して、画面の圧縮や引伸ばし等をおこなうと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

お知らせ

- 「フル」以外に設定すると、PIP表示できなくなる場合があります。その場合は、「フル」に設定してください。
- 「フル」に設定すると、「AVアスペクト」は機能しません。(画面全体に表示します。)
- 「リアル」、「2xズーム」と「AVアスペクト」の「16:9MODE」、「サイドカット」は、併用できません。
- 他の制約はPC入力選択時と(→P30)と同じです。

■オーバースキャン

オーバースキャン率を設定します。

「100% (FULL)」に設定した場合、映像によっては画面の端部分にノイズが見えることがあります。「オーバースキャン」の設定を変更することで、画面の端部分をカットし、ノイズを隠すことができます。

100% (FULL) :

入力された映像をそのまま表示します。

AVアスペクト (→P38) で映像を調節した場合は、調節された映像をそのまま表示します。

入力される映像によっては、画面の端部分にノイズが見えることがあります。

98% :

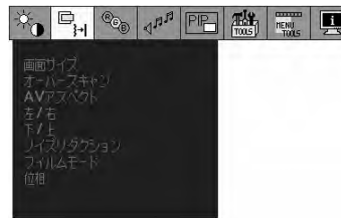
入力された映像の周囲をカットし、元映像の98%を表示します。

「100% (FULL)」の設定にすると画面の端部分にノイズが見える場合は、「98%」を選択してください。

AVアスペクト (→P38) で映像を調節した場合は、調節された映像に対して周囲をカットし、98%表示します。



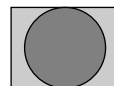
HDMI入力の場合の画面



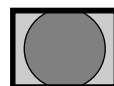
ビデオ入力(VIDEO1)の場合の画面



ビデオ入力(VIDEO2)の場合の画面



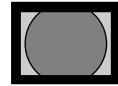
NTSC4:3の映像信号をオートで調節した画面



98%で調節された画面イメージ

***95% (**93%) :**

入力された映像の周囲をカットし、元映像の95% (93%) を表示します。
「98%」の設定で、画面の端部分にノイズが見える場合、「95% (93%)」を
選択してください。



93%で調節された画面イメージ

AVアスペクト (→P38) で映像を調節した場合は、調節された映像に対して
周囲をカットし、95% (93%) 表示します。

*95%……HDMI入力、VIDEO 1 入力するとき

**93%……VIDEO2入力するとき

お知らせ

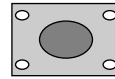
- 「オーバースキャン」を「100% (FULL)」以外に設定した場合、PIP機能が使用できなくなる場合があります。
- 「オーバースキャン」を「100% (FULL)」以外に設定すると、画面位置が調節できるようになります。
- 「スルーモード」機能がオンのときは、使用できません。

■AVアスペクト

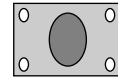
入力映像 (D1、D2、D4、D5信号) に対して、画面のアスペクト比を設定します。入力信号によって動作が変わります。調節するには、最初に「画面サイズ」で「アスペクト」を選択してください。

HDMI入力、VIDEO1入力のD1信号、D2信号 (→P40) およびVIDEO2入力の映像に対してのみ、本機能は有効です。
それ以外の映像信号が入力された場合、本機能は選択できません。入力されたアスペクト比のまま出力します。

AUTO : NTSC4 : 3とNTSCスクイーズの映像信号を自動
で真円になるように調節します。

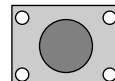


NTSC4 : 3の映像信号

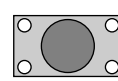


NTSCスクイーズの映像信号

4 : 3 : 画面を垂直方向に1.125倍、拡大します。NTSC
4 : 3の映像信号が真円になります。
その他の映像信号では円が横につぶれます。

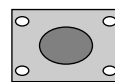


NTSC4 : 3の映像信号を
AUTOで調節した画面

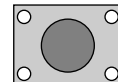


NTSCスクイーズの映像信号を
AUTOで調節した画面

16 : 9 : 画面を垂直方向に0.84倍、縮小します。
NTSCスクイーズの映像信号が真円になります。
その他の映像信号では円が縦につぶれます。

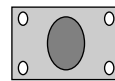


NTSC4 : 3の映像信号

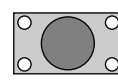


NTSC4 : 3の映像信号を
4 : 3で調節した画面

16 : 9MODE :
このモードは、スルーモードがオンになり16 : 9の
映像信号を可能な限り16 : 9のアスペクトに近づけ
るためのモードです。(円が横につぶれます)
その他の映像信号では円がつぶれます。

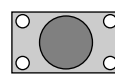


NTSCスクイーズの映像信号

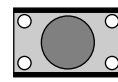


NTSCスクイーズの映像信号を
16 : 9で調節した画面

オフ : 入力信号を調節せず表示します。
NTSC4 : 3とNTSCスクイーズのときは、図のよ
うに横と縦がつぶれて表示されます。



16 : 9の映像信号



16 : 9の映像信号を
16 : 9MODEで調節した画面

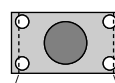
お知らせ

- 通常は「AUTO」に設定してください。
- 「AUTO」の設定で、画面が正しいアスペクト比で表示されない場合、手動でアスペクト比を選択してください。
- スルーモード機能がオンのときに、「AUTO」(16 : 9の入力信号時)、「16 : 9」を選択するとオフになります。
- 「画面サイズ」が「フル」のときは、「AVアスペクト」は機能しません。(画面全体に表示します。)
- 「16 : 9MODE」のときは、「画面サイズ」の「リアル」、「2xズーム」は機能しません。
- 「16 : 9MODE」のときは、「オーバースキャン」が選択できません。「100% (FULL)」の状態になります。

HDMI入力、VIDEO1入力のD4~D5信号 (→P40) の映像に対してのみ、本機能は有効です。
それ以外の映像信号が入力された場合、本機能は選択できません。入力されたアスペクト比のまま出力します。

サイドカット :

16 : 9の映像信号を、縦横比を保ったまま画面全
体に表示します。このとき、サイドが一部カット
され、見えなくなります。また、スルーモードが
オンになります。



16 : 9の映像信号

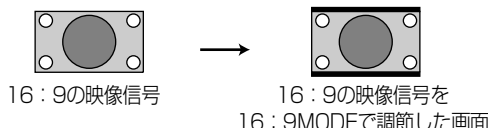


16 : 9の映像信号を
サイドカットで調節した画面

16 : 9 : 16 : 9の映像信号をそのまま表示します。(真円で表示します。)

16:9MODE :

このモードは、スルーモードがオンになり16:9の映像信号を可能な限り16:9のアスペクトに近づけるためのモードです。(円が横につぶれます)
その他の映像信号では円がつぶれません



お知らせ

- スルーモード機能がオンのときに、「16:9」を選択するとオフになります。
- 「画面サイズ」が「フル」のときは、「AVアスペクト」は機能しません。(画面全体に表示します。)
- 「サイドカット」、「16:9MODE」のときは、「画面サイズ」の「リアル」、「2xズーム」は機能しません。
- 「サイドカット」、「16:9MODE」のときは、「オーバースキャン」が選択できません。「100% (FULL) 」の状態になります。
- D3信号 (→P40) のとき「AVアスペクト」は選択できません。

■ノイズリダクション (VIDEO1、VIDEO2入力の場合のみ)

映像の細かいざらつき(ノイズ)を低減します。

- オフ：ノイズリダクション機能をオフにします。
- 弱：ノイズリダクションの効果を弱くかけます。
- 強：ノイズリダクションの効果を強くかけます。

お知らせ

- 必要以上にノイズリダクションをかけすぎると細部がぼやける傾向があります。

■左/右 (→P30)

■下/上 (→P30)

■I/P変換 (VIDEO2入力の場合のみ)

インターレースの信号が入力された場合、プログレッシブ表示用に映像データを変換しますが、その際に3次元I/P変換を適用するかどうかを選択します。ゲームなどの動きの速い映像の場合は、「オフ」(3次元I/P変換を使用しない)の方が動きが滑らかに見える場合があります。

- オン：3次元I/P変換を用いて、インターレースの信号をプログレッシブ信号に変換します。
- オフ：2次元I/P変換を用いて、インターレースの信号をプログレッシブ信号に変換します。

お知らせ

- 入力信号がプログレッシブ (D2 (480p)、D4 (720p)、D5 (1080p)) の場合は、インターレース表示にすることはできません。
- HDMI入力、VIDEO1入力では、インターレース信号が入力された場合、2次元I/P変換を用いて、インターレースの信号をプログレッシブ信号に変換します。

■フィルムモード

フィルム収録のDVDなど、元信号が24コマ/秒の映像を高画質に再生します。

お知らせ

- 映像ソースがインターレース (480i/1080i) 時のみ有効となります。

■位相 (→P30) (VIDEO1入力の場合のみ)


カラー調節

お好みに応じて画面の色合いを調節することができます。色の割合を変えた値を保存することもできます。


■1、2、3 (HDMI入力の場合のみ) (→P31)

■N (NATIVE) (HDMI入力の場合のみ) (→P31)

■色あい (VIDEO1、VIDEO2入力の場合のみ)

調節バー (0.0% ~ 100.0%) が表示されます。本体の  ボタンを \blacktriangleleft 方向に動して、画面をお好みの色あいに調節してください。 \blacktriangleright 方向に動かすと画面の色の赤が強くなり、 \blacktriangleleft 方向に動かすと画面の色の緑が強くなります。

■色のこさ (VIDEO1、VIDEO2入力の場合のみ)

本体の  ボタンを \blacktriangleleft 方向に動して、画面をお好みの色の濃さに調節してください。



HDMI入力の場合の画面



VIDEO1、VIDEO2入力の
場合の画面

音声設定

■高音 (→P32)

■低音 (→P32)

■バランス (→P32)

■サラウンド (→P32)

■音声入力 (→P32)

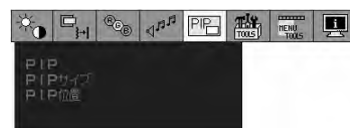
■音量 (→P32)





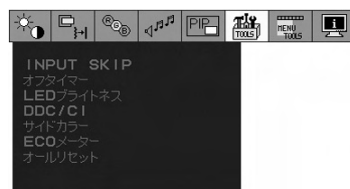
子画面設定

- PIPオン/オフ (→P33)
- PIPサイズ (→P33)
- PIP位置 (→P33)



ツール

- INPUT SKIP (→P34)
- オフタイマー (→P35)
- LEDブライトネス (→P35)
- DDC/CI (→P35)
- サイドカラー (→P35)
- ECOメーター (→P35)
- オールリセット (→P35)



メニューツール

- 言語切替(LANGUAGE) (→P36)
- OSD位置 (→P36)
- OSDオートオフ (→P36)
- INFORMATIONオートオフ (→P36)
- OSDロック (→P36)



インフォメーション

- 表示モード (→P36)



OSD機能による画面調節が必要となる場合

本機は下表(工場プリセットタイミング)に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピュータに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。ただし、コンピュータによっては画面にちらつきやにじみが生じることがあります。また、入力信号によってはうまく表示できないこともあります。その場合は画面調節(→P24)をおこなってください。この場合、調節後の画面情報が記憶されます。

<工場プリセットタイミング>

解像度	周波数	
	水平	垂直
1 640 × 480 (Mac)	35.0kHz	66.7Hz
2 832 × 624 (Mac)	49.7kHz	74.5Hz
3 1152 × 870 (Mac)	68.7kHz	75.0Hz
4 720 × 350	31.5kHz	70.1Hz
5 720 × 400	31.5kHz	70.1Hz
6 640 × 480	31.5kHz	59.9Hz
7 640 × 480	37.9kHz	72.8Hz
8 640 × 480	37.5kHz	75.0Hz
9 800 × 600	35.2kHz	56.3Hz
10 800 × 600	37.9kHz	60.3Hz

解像度	周波数	
	水平	垂直
11 800 × 600	48.1kHz	72.2Hz
12 800 × 600	46.9kHz	75.0Hz
13 1024 × 768	48.4kHz	60.0Hz
14 1024 × 768	56.5kHz	70.1Hz
15 1024 × 768	60.0kHz	75.0Hz
16 1152 × 864	67.5kHz	75.0Hz
17 1280 × 960	60.0kHz	60.0Hz
18 1280 × 960	75.0kHz	75.0Hz
19 1280 × 1024	64.0kHz	60.0Hz
20 1280 × 1024	80.0kHz	75.0Hz
21 1440 × 900	55.5kHz	60.0Hz
22 1600 × 1200	75.0kHz	60.0Hz
23 1680 × 1050	64.7kHz	60.0Hz
24 ※1920 × 1200	74.0kHz	60.0Hz
25 1920 × 1200	74.6kHz	60.0Hz

解像度	周波数	
	水平	垂直
26 D1信号 720 × 480 (インターレース)	15.7kHz	59.9Hz
27 D2信号 720 × 480	31.5kHz	59.9Hz
28 D3信号 1920 × 1080 (インターレース)	33.7kHz	59.9Hz
29 D4信号 1280 × 720	45.0kHz	59.9Hz
30 D5信号 1920 × 1080	67.4kHz	59.9Hz

●本機は解像度1920×1200以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

※ 推奨信号タイミング

お知らせ

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- 本機は工場プリセットタイミング以外に32種類のタイミングを記憶できる機能があります(ユーザーメモリー機能)。記憶させたい信号を入力し、OSD機能でお好みの画面に調節(→P30)するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「オールリセット」を実行すると全てのユーザーメモリーに記憶された値が消去されます。
- 本機は、解像度が1280×1024以下の場合は水平周波数：31.5～82.3kHz/垂直周波数56～76Hzに、解像度が1280×1024より大きい場合は水平周波数：31.5～82.3kHz/垂直周波数56～60Hzに対応となっていますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。この場合は、コンピュータの周波数、または解像度を変更してください。
- 複合同期信号、シンクオングリーン信号には対応していません。
- コンピューターのデジタル出力をHDMI入力端子に接続した場合、1920×1200の解像度が出力されないことがあります。この場合はDVI-D入力端子をご使用ください。

その他の機能について

ここでは、本機のOSD機能以外の機能について説明しています。

拡大・スモーキングファイン機能

パネル解像度より低い解像度の入力画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

お知らせ

- 入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

簡易表示機能

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。

お知らせ

- 入力信号によっては、本機能が正常に動作しない場合があります。

Plug&Play機能 (PC入力選択時のみ)

VESAのDDC (Display Data Channel) 2B規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に最適な画面が自動的に設定されます。

詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ノートタッチオートアジャスト機能 (NTAA: No Touch Auto Adjust) (PC入力選択時で、800×600以上の解像度の場合のみ)

ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。

お知らせ

- Y、Pb、Pr 入力時は、動作しません。

パワーマネージメント機能 (PC入力選択時のみ)

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

お知らせ

- この機能はVESA DPM対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下の通りです。

モード	消費電力	電源ランプ
通常動作時	110W	青色点灯 ※
スリープモード時	2W以下	青色点滅 ※

※ LEDブライトネス調節機能 (→P35) で輝度を下げている時は、点灯しない場合があります。



水平または垂直同期信号がOFF状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号 (R, G, B) が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。

お知らせ

- キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。
画面が復帰しない場合またはパワーマネージメント機能のないコンピューターと接続して使用の場合、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。

DVI EDID SELECT選択機能

「DVI EDID SELECT」 (→P35) が正しく設定されていないことで、「NO SIGNAL」が表示される場合に、正しい設定に変更することができます。

「NO SIGNAL」の表示中に「DV MODE/RESET」ボタンを押し、 ボタンを  方向に動かして正しく設定してください。



故障かな？と思ったら…

このようなときは、チェックしてください。

表示されないときは…



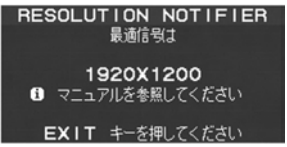
症状	状態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P8
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P18
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	
		電源コードをコンピューターの本体のコンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
		LEDブライトネス調節機能で輝度を下げていると電源ランプが点灯しない場合がありますので、確認してください。	P35,40
	電源ランプが青色に点灯している場合	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P26
		● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P47
		● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「映像設定」の「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してください。	P28
		● OSD画面が正常に表示され、「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P14,15,36
		HDCP対応の機器を接続し画面が映らない場合は、接続機器の電源を入れ直してください。	
電源ランプが青色に点滅している場合	パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P41	
	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P14,15	
	変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P14,15	
	コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。		
	入力選択があっていない可能性があります。本体の「INPUT/SELECT」ボタンまたは、リモコンの「映像入力」ボタンを押して入力切替をしてください。	P8,10	
画面が表示しなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合*	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P47

* 液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には寿命があります。

表示がおかしいときは…

症 状	原因と対処	参照
画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P2
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状がありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状がありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状がありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
線の太さなどがぼやける	推奨信号タイミング以外の解像度で表示すると、このような症状がありますが、故障ではありません。 解像度を1920×1200に設定してください。 D-SUB接続のときは「自動調節」や「シャープネス」の調節を実施してください。	P21、29、40
映像が横長に見える	推奨信号タイミング以外の解像度を表示すると、このような症状がありますが、故障ではありません。 解像度を1920×1200に設定してください。または、「画面サイズ」を「アスペクト」または「リアル」に設定してください。	P30、37、40
表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状がありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P53
画面を見る角度によってコントラストが変わる	視野角（画面を見る角度）によっては、コントラストが変化します。液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P53、54
画面の表示状態が変わっていく	液晶パネルは蛍光灯を使用しているため、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがあります。液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。電源を切るか変化する画面を表示していれば像は1日程度で消えます。	P7、53
表示色がおかしい	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。 ----- ● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。 ----- ● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「カラー調節」を選択してお好みで色の割合を調節していただくか、または「DV MODE/RESET」ボタンで工場設定に戻してください。 ----- ● OSD画面が正常に表示され、「カラー調節」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P26 P47 P31 P14、15、36
画面がちらつく（分配器を使用している場合）	分配器を中継させず、コンピューターと直接接続してください。	P14、15
画面がちらつく（上記以外の場合）	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。 ----- ● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。 ----- ● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「画面調節」の「位相」を選択し調節してください。 ----- ● OSD画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P26 P47 P30 P14、15、36
	MP MODEを使用している場合は、画面がちらついて見えることがありますが、故障ではありません。ちらつきが気になる場合は、MP MODEを「オフ」にしてください。	P28

案内画面／注意画面が表示されたら… (PC入力選択時のみ)

症状	原因	対処	参照
画面に「NO SIGNAL」が表示された！※1 	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクタに正しく接続してください。	P14, 15
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	
	電源ランプが青色に点滅している場合は、コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	コンピューターのパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P41
	DVI EDID SELECTが正しく設定されていない可能性があります。	「NO SIGNAL」の表示中に「DV MODE/RESET」ボタンを押して正しく設定されているか確認してください。	P41
	HDCP対応の機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。	数秒程度お待ちください。	
画面に「OUT OF RANGE」が表示された！※2 	本機が対応していない信号が入力されている可能性があります。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P36, 40
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P36, 40
画面に「RESOLUTION NOTIFIER」が表示された！ 	ご使用のコンピューターから出力されている解像度の信号が推奨サイズ以外に設定されています。	コンピューター本体の解像度を1920×1200にしてください。そのままの解像度をお使いでこれを表示させたくない場合は、RESOLUTION NOTIFIERをオフ(非表示)に設定してください。	P36

※1 コンピューターによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他（PC入力選択時のみ）

症状	原因	対処	参照
解像度や色数の変更ができない ／固定されてしまう	正しく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。	
	Windows®をご使用の場合は、Windows®セットアップ情報のインストールが必要な可能性があります。	Windows®セットアップ情報を当社ホームページからダウンロードし、コンピューターにインストールしてください。	P20
	Windows®セットアップ情報をインストールしても設定の変更が不可能な場合、またはWindows®以外のOSをご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。	グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターのマニュアルをご参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。	

その他（リモコン、スピーカー）

症状	原因	対処	参照
リモコンで操作できない	リモコンの乾電池が消耗している可能性があります。	新しい乾電池と交換してください。	
	リモコンの乾電池の＋が逆に入っている可能性があります。	乾電池の向きを確認してください。	
	ディスプレイ本体の受光部に正しく向いていない可能性があります。	リモコンを受光部に向けて操作してください。	
スピーカーから音が出ない	オーディオケーブルが本機またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	正しく接続されているか確認してください。	P17
	ヘッドホンがつながっている場合、スピーカーからは音は出ません。	ヘッドホンを外してください。	P19
	音量が最小になっているか、消音になっている可能性があります。	OSD機能の「音声設定」の「音量」で音量を調節するか、「消音」を解除してください。	P32,39

ビデオを見るとき（HDMI・ビデオ入力選択時のみ）

症状	原因	対処	参照
映像も音も出ない	映像機器を正しく接続し、正しく操作していますか。	詳しくは、映像機器の取扱説明書をご覧ください。	P15~17
色がつかない、色がおかしい	色あいや色のこさが合っていない可能性があります。	OSD機能の「カラー調節」の「色あい」や「色のこさ」を調節してください。	P39
画面が横長に見える	4：3の映像が16：10に伸長され、横長の映像として表示されている場合があります。	正しい比率で見るために、OSD機能の「画面サイズ」を「アスペクト」または「リアル」に設定してください。	P30,37

本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

当社は環境保護に強く関わっていきます。環境に対する影響を最小限にするために、リサイクルシステムを会社の最重要課題の一つとして考えております。また、環境に優しい製品の開発と常に最新のISOやTCOの標準に従って行動するよう努力しています。当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については当社インターネットホームページをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/env.html

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお申し込みは下記へお願いします。

情報機器リサイクルセンター	
家庭系（個人ユーザー様）の窓口	事業系（法人ユーザー様）の窓口
TEL 03-3455-6107 www.pc-eco.jp	TEL 03-3455-6106 www.diarcs.com
受付時間 土・日・祝日を除く 午前9:00～12:00 午後1:00～5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

ディスプレイの回収・リサイクル

資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PCリサイクル”が2003年10月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003年10月1日より受付しております。2003年10月以降購入されたディスプレイのうち、銘板に“PCリサイクル”が表示されている製品は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

保証とアフターサービス

- この製品には保証書を添付しています。保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

技術相談窓口 (携帯電話・PHS通話可 / IP電話不可)	修理相談窓口 (携帯電話・PHS通話可 / IP電話不可)
☎ フリーダイヤル 0120-71-3322	☎ フリーダイヤル 0120-08-1460
受付時間 土・日・祝日を除く 午前9:00～12:00 午後1:00～5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

アフターサービスを依頼される場合は、次の内容をご連絡ください。



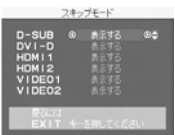


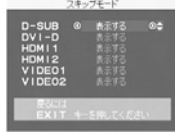

- お名前
- ご住所 (付近の目標など)
- 電話番号
- 品名：三菱マルチメディアワイド液晶ディスプレイ
- 形名：MDT243WG
- 製造番号 (本機背面のラベルに記載)
- 故障の症状、状況など (できるだけ詳しく)
- 使用状況 (PCおよびグラフィックボード (メーカー、形名)、解像度、入力信号 (アナログ、デジタル) など)
- 購入年月日または使用年数

- 無料出張サービス規定
この製品をお買上げから1年間は「修理相談窓口」にてディスプレイに起因する障害で修理が必要と判断された場合、無料出張サービスを適用します。その際、同梱の保証書の提示をお願いします。提示がない場合は、保証期間中でも有料となります。出張サービスは、日本国内のみ対応します。代替セット(現品とは異なる場合があります。)を無料でお貸しし、現品の持ち帰り修理になります。一部の地域で宅配業者の引き取りサービスになる場合があります。

個人情報の取り扱い

- お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
 1. お問合せ (ご依頼) いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
 2. 上記利用目的のために、お問合せ (ご依頼) 内容の記録を残すことがあります。
 3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合及び下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示する事はありません。
 - ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ② 法令等の定める規定に基づく場合。
 4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

フロントキー操作

		電源オフのとき (青色LED消灯時)	親画面が映っていないとき			
			「NO SIGNAL」が 表示されているとき 	パワーセーブ モードのとき (青色LED点滅時)	DVI EDID SELECT 設定画面が表示 されているとき ※DVI-D入力 のときのみ 表示されます 	インプットスキップ 設定画面が表示 されているとき 
MP MODE/ PIP ボタン	短押し	—	—		—	—
	長押し (3秒以上)	—	—		—	—
DV MODE/ RESET ボタン	短押し	—	DVI EDID SELECT 設定画面が表示されます 		選択されている 項目をリセット します	選択されている 項目をリセット します
	長押し (3秒以上)	—	—		—	—
INPUT/ SELECT ボタン	短押し	—	入力切替	青色LEDが点灯し、 VIDEO INPUT 画面が表示されます 	—	—
	長押し (3秒以上)	—	インプットスキップ 設定画面が 表示されます 		—	—
MENU/EXIT ボタン		—	OSD画面が消えます		OSD画面が消えます	OSD画面が消えます
 コントロール ボタン	上方向 ▲	—	—		—	OSD画面操作します
	下方向 ▼	—	—		—	
	左方向 ◀	—	—		OSD画面操作します	
	右方向 ▶	—	—		OSD画面操作します	
	中央ボタン	—	—	—	—	
電源スイッチ		電源をオンします	電源をオフします	電源をオフします	電源をオフします	電源をオフします



親画面が映っているとき			
PIP画面が表示されていないとき		PIP画面が表示されているとき	
メインOSD画面が表示されていないとき	メインOSD画面が表示されているとき 	メインOSD画面が表示されていないとき	メインOSD画面が表示されているとき 
MP MODEが切り替わります	—	親画面と子画面が切り替わります ※入力信号によっては、操作できない場合があります	—
子画面が表示されます	—	子画面が消えます	—
DV MODEが切り替わります	選択されている項目をリセットします	DV MODEが切り替わります	選択されている項目をリセットします
—	—	—	—
親画面の入力が切り替わります	選んだ調節項目を決定します	親画面の入力が切り替わります	選んだ調節項目を決定します
音声入力設定画面が表示されます	—	音声入力設定画面が表示されます	—
	—		—
メインOSD画面が表示されます	1つ上の画面に戻ります。グループアイコン選択時に押された場合は、メインOSD画面が消えます。	メインOSD画面が表示されます	1つ上の画面に戻ります。グループアイコン選択時に押された場合は、メインOSD画面が消えます。
音量を調節します (音量が大きくなります)	OSD画面操作します	音量を調節します (音量が大きくなります)	OSD画面操作します
音量を調節します (音量が小さくなります)		音量を調節します (音量が小さくなります)	
ブライトネスを調節します (暗くなります)		子画面の入力が切り替わります ※入力信号の組合せによっては、操作できない場合があります	
ブライトネスを調節します (明るくなります)			
消音機能をオン/オフします	選んだ調節項目を決定します	消音機能をオン/オフします	選んだ調節項目を決定します
電源をオフします	電源をオフします	電源をオフします	電源をオフします

市販のアームを取り付けるとき

本機にはVESA 規格に準拠した（200mm×100mmピッチ）市販のアームを取り付けることができます。

お願い

- アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。
- ボタン類をテーブルなどにあてないように注意してください。

ディスプレイ本体（スタンドなし）質量

MDT243WG

約7.9 kg

お知らせ

- 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。

スタンドの取り外し方

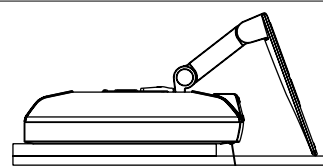
アームを取り付ける際は、下記要領で取り付けてください。

1 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、信号ケーブル、電源ケーブルを取り外す

2 平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを下向きにして置く

お願い

- ガラス面および前面のコントロールボタンがテーブル等の設置面や突起物に触れないように、本機を安定した状態になるよう置いてください。破損の原因となることがあります。

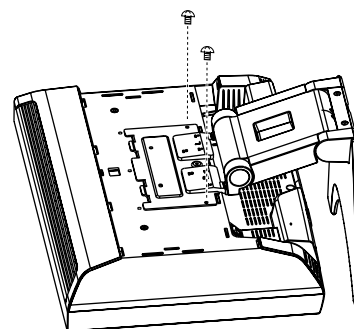


コントロールボタン

3 スタンドを取り付けている2本のネジを取り外す

お願い

- バックカバーが取り付けられている場合は、まずはじめに、バックカバーを取り外してください。（→P18）

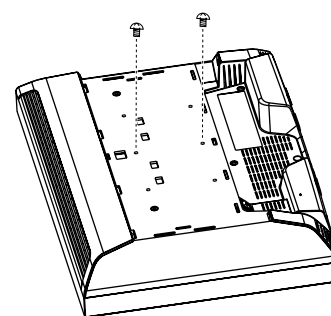


4 スタンドをスライドさせて取り外す

5 本機背面のネジ2本を取り外す

お願い

- スタンドを取り付ける場合は、逆の手順でおこないます。その際は必ずスタンド取り付けに使用していたネジを使ってください。それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障する原因になる恐れがあります。
- ネジを締めつける際はつけ忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締めつけてください。なお、スタンドの取り付けはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。



⚠ 注意

スタンドの取り付け、取り外しの際に指をはさまないように気をつけてください。けがの原因となることがあります。

アームの取り付け方

以下の要領でアームを取り付ける。

取付可能アーム：

取付部厚み 2.0mm ~ 3.2mm

VESA 規格準拠 200mm×100mmピッチ

ネジゆるみ防止のためすべてのネジをしっかりと締めてください。(ただし、締め付けすぎるとネジがこわれることがあります。98 ~ 137N・cmが適切な締付トルクです。)

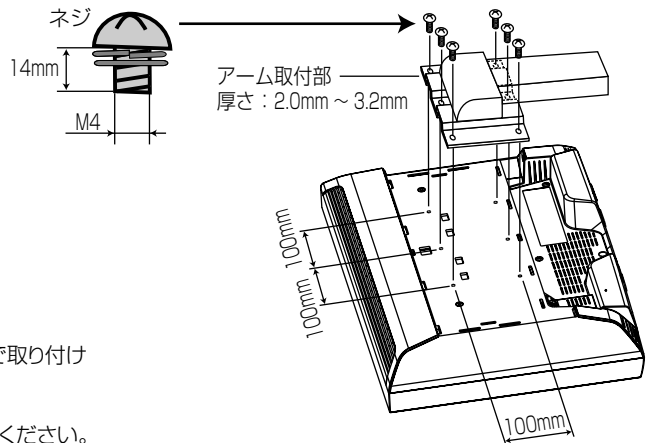
⚠ 注意

落下防止のために

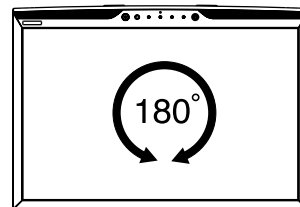
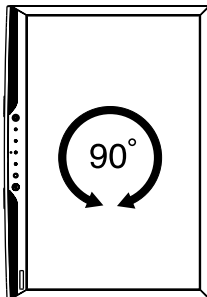
- 液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、2人以上で取り付け作業をおこなってください。落下してけがの原因となります。
- 取り付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ずお読みください。また、地震等での製品の落下によるけがなどの危害を軽減するために、設置場所などは必ずアームメーカーへご相談願います。
- アームの取り付けは、お客様の責任においておこなってください。万一事故が発生した場合でも、当社はその責を負いかねますので、ご了承ください。
- 万一、地震などで落下の恐れのある場所では、就寝しないでください。

火災や感電防止のために

- アームを取りつける際は、必ず下記に示すネジを使ってください。それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障したり火災や感電の原因になる恐れがあります。
緩み止めスプリングワッシャ付き M4 ネジ (長さ 14mm)
- アームを取り付けてご利用される場合でも、90°回転や180°回転した状態でご使用しないでください。
内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。



※ 上記アームの取付部形状は参考例です。



用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

2系統入力

P14

2台のコンピューターを接続するための入力端子を2つ準備していることを表します。

CRオプティマイザー (CRO : Contrast Ratio Optimizer)

P29、37

映像の明るさに応じて、バックライトの輝度をリアルタイムに制御し、最適化します。画面全体が暗い場合でも、深みのある黒を映し出します。

DDC 2B 規格 (Display Data Channel)

P41

VESAが提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DDC/CI 規格

(Display Data Channel Command Interface)

ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。

DPM (Display Power Management)

P41

VESA が提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPMでは、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

DV MODE

(Dynamic Visual MODE) P8、10、28、37

表示する内容に合わせて最適画面を選べる機能で「スタンダード1 または 2」、「IVテキスト」、「TV」、「sRGB」、「ゲーム1 または 2」、「シネマ」の中から選ぶことができます。

DVI-A端子

(Digital Visual Interface-Analogue) P13

アナログ入力のみに対応しているDVI端子です。

DVI-D端子 (Digital Visual Interface-Digital)

P3、9、13~17

デジタル入力のみに対応しているDVI端子です。

DVI-I端子 (Digital Visual Interface-Integrated)

P3、13~15、17

デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子です。どちらかの入力を接続するケーブルあるいは変換アダプターによって使い分けが可能となります。

D端子

P3、16

DVDレコーダー/プレーヤーなどと接続ができる業界で統一された映像端子です。コンポーネント映像信号と映像フォーマットやアスペクト比などの識別信号を1本のケーブルで接続できます。本機にはD5映像端子が搭載されており、D1からD5までの映像フォーマットに対応しています。

分類名	映像フォーマット	走査線数	有効走査線数	走査方式
D1 (525i)	480i	525本	480本	インターレース
D2 (525p)	480p	525本	480本	プログレッシブ
D3 (1125i)	1080i	1125本	1080本	インターレース
D4 (750p)	720p	750本	720本	プログレッシブ
D5 (1125p)	1080p	1125本	1080本	プログレッシブ

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection System)

P54

デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。HDCPに対応した映像機器を接続することにより、HDCPで保護された映像コンテンツを視聴することができます。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface)

P3、9、15

DVDレコーダー/プレーヤーなどと接続できるAV用のデジタルインターフェイスです。コンポーネント映像信号と音声信号、制御信号を1本のケーブルで接続できます。

I/P変換

P39

画面に表示するための走査方式を、インターレース方式からプログレッシブ方式に変換することです。

IV MODE (Intelligent Visual MODE)

P29、37

人間工学的な知見をもとに、年齢によるまぶしさの感じ方や表示画像の平均輝度に応じた明るさ制御を自動的におこない、目の疲労をやわらげます。一般的に、若年層では明るさに対する感度が高くなるため、より明るさを抑えた設定になります。

「オフ」、「ジュニア」、「ミドル」、「シニア」の中から選ぶことができます。

MP MODE

(Motion Picture MODE)

P8、10、28、37

動画応答改善回路で黒挿入、バックライトスキッピング、オーバードライブを最適に組み合わせることにより、ゲームや映画など動画を楽しむ場合に、動きの速い映像でも、ぼやけ感をおさえてブレの少ないくっきりとした動画を再現します。コンテンツの動きに応じて、「オフ」、「レベル1」、「レベル2」、「レベル3」の中から選ぶことができます。

LEDブライトネス

P35、40

電源ランプの輝度を調節する機能です。

Plug&Play

P41

Windows®で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

RESOLUTION NOTIFIER

P36、44

最適な解像度以外の信号をコンピューターで設定している場合に、推奨信号の案内を画面に表示する機能です。

sRGB規格

P28、37

IEC(International Electrotechnical Commission)により規定された色再現国際規格です。sRGB対応のディスプレイなら、ネットワーク上でどのディスプレイでも色調を揃えることができる規格で、対応プリンター、スキャナー、デジタルカメラなどとの色合わせもしやすくなります。

VESA規格 (Video Electronics Standards Association) P41、50、51
ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

位相 P30
アナログ信号をきれいに表示するための調節項目の1つです。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

インターレース P39、52
1つの画面 (フレーム) を1行おきに走査して表示する方式です。テレビのような動きのある画面を表示するときはこの方式を使用できますが、静止画を表示するには画面のちらつきが目立ち不向きです。そのため、コンピューターのディスプレイでは、ほとんどのものがプログレッシブ方式を採用し、静止画のちらつきを抑えています。

エネルギースタープログラム P4、54
デスクトップコンピュータの消費電力を節減するために、米国の環境保護局 (EPA: Environmental Protection Agency) が推し進めているプログラムのことです。

オーバースキャン P37
ディスプレイの表示画面において、入力有効画像の数%程度の部分を表示画面からはみ出した状態で表示させることです (はみ出した部分は、画面には表示されません)。通常のテレビは、オーバースキャンの状態では調節されています。

応答速度 P54
表示している画面を変化させたときの画面の切り替わりの速さ (追従性) のことで、数値が小さいほど応答速度は速くなります。応答速度は黒→白→黒の階調変化に要する時間の合計です。

輝度 P54
単位面積あたりの明るさを示す度合いのことで、数値が高いほど表示画面が明るくなります。

コントラスト比 P54
白と黒の明るさの比率を示す比率のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

コンポーネント映像 P3、16
映像信号を輝度信号 (Y) と、色系統信号 (赤系 (Pb) / 青系 (Pr)) に分けて送り、受け側の表示機器で画面に映すときに合成して映像にします。輝度信号と色系統信号が分けて送られるため、従来のアナログテレビ放送などで発生しやすい、不要な色付きや色のにじみなど画質の悪化を抑えることができます。

サイドカラー P35、40
アスペクト表示した場合の両端の画像のない部分の色を調節する機能です。

残像 P43
残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象です。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

視野角 P43、54
斜めから見た場合など、正常な画像が見られる角度のことで、数値が大きいほど広い範囲から画像が見られます。

水平周波数/垂直周波数 P40、54
水平周波数: 1秒間に表示される水平線の数のことで、水平周波数31.5 kHzの場合、1秒間に水平線を31,500回表示するという事です。
垂直周波数: 1秒間に画面を何回書き換えているかを表します。垂直周波数が、60 Hzの場合、1秒間に画面を60回書き換えているという事です。

チルト角度/スイーベル角度 P19、54
チルト角度: ディスプレイ画面を上下に動かせる角度の事です。
スイーベル角度: ディスプレイ画面の水平方向の回転角度の事です。

ノータッチオートアジャスト/NTAA (No Touch Auto Adjust) P41
コンピューターから新しい信号を受信するたびに自動的に画面を最適な状態にする機能です。

ノイズリダクション P39
映像の細かいざらつき (ノイズ) を低減します。

パワーマネジメント機能 P41
コンピューターの消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない (一定時間以上キー入力がないなど) 場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

表示画素数/解像度 P36、40、41、54
一般的には「解像度」と呼ばれています。1画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が大きいほど多くの情報量を表示することができます。

プログレッシブ P39、52
1つの画面 (フレーム) を1回の走査で表示する方式です。上から順に走査し全画素を表示していく方式で、順次走査方式とも呼ばれます。インターレース方式に比べ、画面のちらつき感の少ない、きれいな映像を見ることができます。ノンインターレースとも呼ばれます。

形名	MDT243WG		
液晶パネル	サイズ (表示サイズ)	24.1 型 (61.1 cm)	
	液晶方式	VA 表面処理: ノングレア (反射防止)	
	有効表示領域	518.4 × 324.0 mm	
	表示画素数	1920 × 1200	
	画素ピッチ	0.270 mm	
	表示色	約1677 万色 (約10億6433万色中)	
	視野角	左右178°、上下178° (コントラスト比10)	
	輝度 (標準値)	500 cd/m ² (MP MODEオフ時)	
	コントラスト比	2000:1 (CRO非動作時 1000:1)	
	応答速度	6 ms (GTG) * ¹	
PC入力	水平周波数	31.4 ~ 82.3kHz (デジタル)、24.7 ~ 93.8kHz (アナログ)	
	垂直周波数	56 ~ 76 Hz : 解像度1280×1024以下の時 56 ~ 60 Hz : 解像度1280×1024より大きい時	
	ビデオ信号	デジタルRGB、アナログRGB	
	同期信号	TMD5、セパレート同期信号 (TTL)	
	信号入力コネクタ	DVI-D (HDCP対応)、ミニD-SUB15 ピン	
ビデオ入力	信号入力コネクタ	HDMI (2系統)、D5端子、コンポジットビデオ/S端子	
音声入出力	入力コネクタ	RCAピンジャック L/R×2、φ3.5mmステレオミニジャック×1	
	スピーカー	5 W + 5 W (ステレオ)	
	音声出力	φ3.5 mm ステレオミニジャック×1	
	光デジタル音声出力	S/PDIF×1 (2ch、HDMI入力時)	
	ヘッドホン	φ3.5 mm ステレオミニジャック×1	
適合規格等 * ²	安全	電気用品安全法、UL60950-1、c-UL、TUV-S	
	不要輻射	VCCI-B、低周波電磁界ガイドライン、 家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン	
	省エネルギー基準	国際エネルギースタープログラム	
	エルゴノミクス	ISO13406-2 (準拠)	
	ブラグ&プレイ	VESA DDC2B	
	その他	PCグリーンラベル (2008年度版)、グリーン購入法、 J-Moss、DDC/CI、Windows Vista® Premium	
使用環境条件	温度	5 ~ 35 °C	
	湿度	30 ~ 80 % (結露のないこと)	
電源	電源入力	AC 100 - 240 V 50/60 Hz	
	消費電力	標準	110 W
		省エネモード	スリープモード時: 2 W 以下、オフモード時: 1 W 以下
	電源入力コネクタ	3P IEC タイプ	
質量	ディスプレイ	スタンド含む 約11.2 kg	
	本体	スタンドなし 約7.9 kg	
梱包状態 (質量/寸法)	約14.5 kg / 653 (W) × 515 (H) × 280 (D) mm		
チルト角度/スイーベル角度/高さ調節	上 25°、下 10° / 90° / 約60 mm (チルト角度0°において)		
外形寸法	<p style="text-align: right;">単位: mm</p>		

お知らせ *¹ 特定階調レベル間 (例: 0,31,63,95,127,159,191,223,255) の各応答速度の平均値です。

*² 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満たしております。

● 本機は、解像度1920x1200以外の信号を入力した場合、信号によって文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

さくいん

英数字

2 系統入力	接続
Apple Macintosh シリーズ	3,4,13
D5 映像入力端子	3,9,16,52
DV MODE	8,10,24,25,28,37,52
DVI EDID SELECT 選択機能	24,35,41,48
HDMI 入力端子	9,15
I/P 変換	25,39,52
IV MODE	24,25,29,37,52
LED ブライトネス	24,25,35,40,52
MP MODE	8,10,28,37,52
NO SIGNAL (画面)	44
OSD	
OSD 画面	24
OSD 操作	8,26~40
画面の調節をする	26~40
グループアイコン	24,25
自動調節をする	21
OUT OF RANGE (画面)	44
PC 音声入力端子	9,17
Plug&Play 機能	41
PIP	8,24,25,33,40,49
RESOLUTION NOTIFIER (画面)	24,36,44,52
sRGB	28,37,52
S 映像入力端子	9,16
Windows®セットアップ情報	3,20,45

あ

安全のために必ず守ること	5~7
案内画面/注意画面	
NO SIGNAL	44
OUT OF RANGE	44
RESOLUTION NOTIFIER	44
位相	22,24,25,30,39,53
インターレース	39,40,52,53
インフォメーション	24,25,36,40
映像設定	24,25,28,37
映像入力端子	3,9,16
応答速度	53,54
オフタイマー	→調節項目: オフタイマー
音声出力端子	9,17
音声入力端子	3,9,16,17
音声設定	24,25,32,39

か

回収	46
解像度	30,40,41,53,54
拡大・スムージングファイン機能	41
各部の名称	
映像・音声端子	9,14~17,54
ケーブル穴	9,18
主電源スイッチ	→電源
信号入力コネクタ	9,13,54
スタンド	8,12,50
操作ボタン	→操作ボタン
電源入力コネクタ	9,18,54
電源スイッチ	→電源
電源ランプ	→電源
盗難防止用ロック穴	9
バックカバー	3,9,18
本体正面	8
本体背面	9
リモコン	10
画面	
OSD 画面	→OSD
グループアイコン画面	24,25
工場プリセットタイミング	40
選択項目画面	28~40
画面調節 (OSD 機能)	24~40
画面調節	30,37
カラー調節	31,39
簡易表示機能	41

規格

DDC 2B 規格	41,52,54
DDC/CI 規格	52,54
DPM	41,52
Plug&Play	41,52
sRGB	28,37,52
VESA 規格	41,50~54
輝度	53,54
機能	
DV MODE	8,10,24,25,28,37,52
DVI EDID SELECT 選択機能	24,35,41,48
IV MODE	24,25,29,37,52
MP MODE	8,10,28,37,52
NTAA (No Touch Auto Adjust)	41,53
OSD 機能	26~40
Plug&Play 機能	41
RESOLUTION NOTIFIER	24,36,44,52
拡大・スムージングファイン機能	41
簡易表示機能	41
ノータッチオートアジャスト機能	→機能:NTAA
パワーマネージメント機能	8,41,53
レゾリューションノーティファイヤー	→機能:RESOLUTION NOTIFIER
グループアイコン	24,25
インフォメーション	36,40
映像設定	28,37
音声設定	32,39
画面調節	30,37
カラー調節	31,39
子画面設定	33,40
ツール	34,40
メニューツール	36,40
子画面設定	33,40
コネクタ	→各部の名称/接続
困ったとき	42~47
NO SIGNAL	44
OUT OF RANGE	44
RESOLUTION NOTIFIER	36,44
アフターサービス	47
解像度	42~44
画面に何も映らない	42
暗い/表示しない	42
黒点/輝点	43
故障かな?と思ったら...	42~45
残像	43,53
修理相談窓口	47
スピーカーから音が出ない	45
ちらつき	43
電源ランプ	42
バックライト	42
ビデオを見る時	45
表示がおかしい	43
表示されない	42
表示色	43
分配器	43
リモコン	45
コントラスト比	53,54
コンポーネント映像	16,53

さ

残像	→困ったとき
視野角	53,54
周波数	40,53,54
修理相談窓口	47
主電源スイッチ	→電源
仕様	54
応答速度	54
外形寸法	54
解像度	54
画素ピッチ	54
輝度	54
コントラスト比	54

質量	54
視野角	53,54
周波数	53,54
使用環境条件	54
消費電力	54
スイベル角度	19,20,54
チルト角度	19,20,54
適合規格等	54
同期信号	54
ビデオ信号	54
表示画素数	54
表示色	54
保管環境条件	54
有効表示領域	54
信号入力コネクタ	9,13,54
スイベル角度	19,20,53,54
垂直周波数	40,53,54
水平サイズ	10,20~22,24,30,41
水平周波数	40,53,54

接続	
2 系統入力	3,14,52
D-SUB 15 ピン	3,13,14
DVD プレーヤー	15~17
DVI-A	13,14,52
DVI-D	3,9,13~15,17,52
DVI 出力映像機器	17
DVI-I	3,13~15,17,52
D 端子出力	3,16
HDMI 出力	3,15
S 映像・コンポーネント映像出力以外 (コンボジット映像出力)	3,16
S 映像出力	3,16
アナログ接続 (PC)	3,13,14
映像機器	3,15~17
オーディオアンプ	17
オーディオケーブル	16,17
角度を調節する	19,20
ゲーム機器	15,16
コネクタとケーブルの対応表	13
コンポーネント映像出力	3,16
信号ケーブルを接続する (PC)	14,15
接地 (アース)	18,19
高さを調節する	19,20
デジタル接続 (PC)	3,13,14
電源	18
光デジタル音声	17
ヘッドホン	19
変換アダプター	3,13,14
ミニ D-SUB 15 ピン	3,9,13~15
設定	21
自動調節をする	21
操作ボタン	
本体	8
リモコン	10

た

調節項目	28~40
1、2、3、N	31,39
AV アスペクト	38
CR オプティマイザー(CRO)	29,37
DDC/CI	35,40
DV MODE	28,37
DVI EDID SELECT	35
ECO メーター	35,40
INFORMATION オートオフ	36,40
INPUT SKIP	34,40
I/P 変換	39
IV MODE	29,37
LED ブライトネス	35,40
MP MODE	28,37
N(NATIVE)	31,39
OSD オートオフ	36,40
OSD 位置	36,40
OSD ロック	36,40
PIP 位置	33,40
PIP オン/オフ	33,40

PIPサイズ	33,40	電源ランプ	8,41
RESOLUTION NOTIFIER	36	同期信号	40,41,54
sRGB	28,37	盗難防止用ロック穴	9
明るさセンサー	29,37		
位相	30,39	な	
色あい	39	ノイズリダクション	25,39,53
色のこさ	39	ノータッチオートアジャスト機能	
オートコントラスト	29	→機能,NTAA	
オーバースキャン	37,38	は	
オールリセット	35,40	廃棄する	46
オフタイマー	35,40	パワーマネージメント機能	41,53
音声入力	32,39	光デジタル音声出力端子	9,17
音量	32,39	ビデオ信号	41,54
解像度切替	30	表示画素数	30,37,41,53,54
画面サイズ	30,37	付属品	3
言語切替	36,40	HDMIケーブル	3,9,15
高音	32,39	オーディオケーブル	3,9,16~18
コントラスト	28,37	信号ケーブル	3,13,14
サイドカラー	35,40	セットアップガイド	3
下/上	30,39	電源コード	→電源
サラウンド	32,39	乾電池	3,11
自動調節	30	バックカバー	3,18
シャープネス	29,37	保証書	3,47
水平サイズ	30	ユーティリティディスク	3,20,21
スルーモード	29,37	リモコン	3,10
低音	32,39	付録	48~58
入力タイプ	29,37	アームの取り付け方	51
ノイズリダクション	39	市販のアームの取り付け方	50
バランス	32,39	スタンドの取り外し方	50
フィルムモード	39	プログレッシブ	39,52,53
左/右	30,39	フロントキー操作	48,49
表示モード	36,40	保証とアフターサービス	47
ブライトネス	28,37	ま〜り	
ブラックレベル	29,37	メニューツール	24,25,36,40
ホワイトレベル	29	ユーザーメモリー機能	40
チルト角度	19,20,53,54	用語解説	52,53
ツール	24,25,34,40	リサイクル	46
テストパターン	3,20,21	リモコン	10
電源		乾電池	11
アースリード線	18,19	操作ボタン	10
主電源スイッチ	9	取り扱い	11
電源コード	3,4,9,18,19		
電源スイッチ	8		
電源電圧	19		
電源プラグ	18,19		
電源容量	18		